

---

---

美 幌 町

「第二期 子ども・子育て支援事業計画」策定のための  
アンケート調査報告書

---

---

令和元年11月

# 美幌町

## 1 調査の目的

美幌町の子ども・子育てに関する実態とニーズを把握するため、小学校就学前の子ども及び小学校就学している子どもの保護者を対象とするアンケート調査を実施しました。

調査票の種類	対象者	配付数
未就学児の保護者用	町内在住の就学前の子どもの保護者 (平成30年4月1日現在)	594名
小学生の保護者用	町内在住の小学生の保護者 (平成30年4月1日現在)	300名

## 2 調査の方法

調査は、配付・回収とも郵送により実施しました。

## 3 調査期間

平成31年1月7日から平成31年1月25日までとして実施しました。

※1月25日以降に届いた分は可能な限り集計に含めることとしました。

## 4 回収数と回収率

調査の種類	配付数	回収数	回収率
未就学児の保護者用	594名	279名	47.0%
小学生の保護者用	300名	123名	41.0%
合計	894名	402名	47.0%

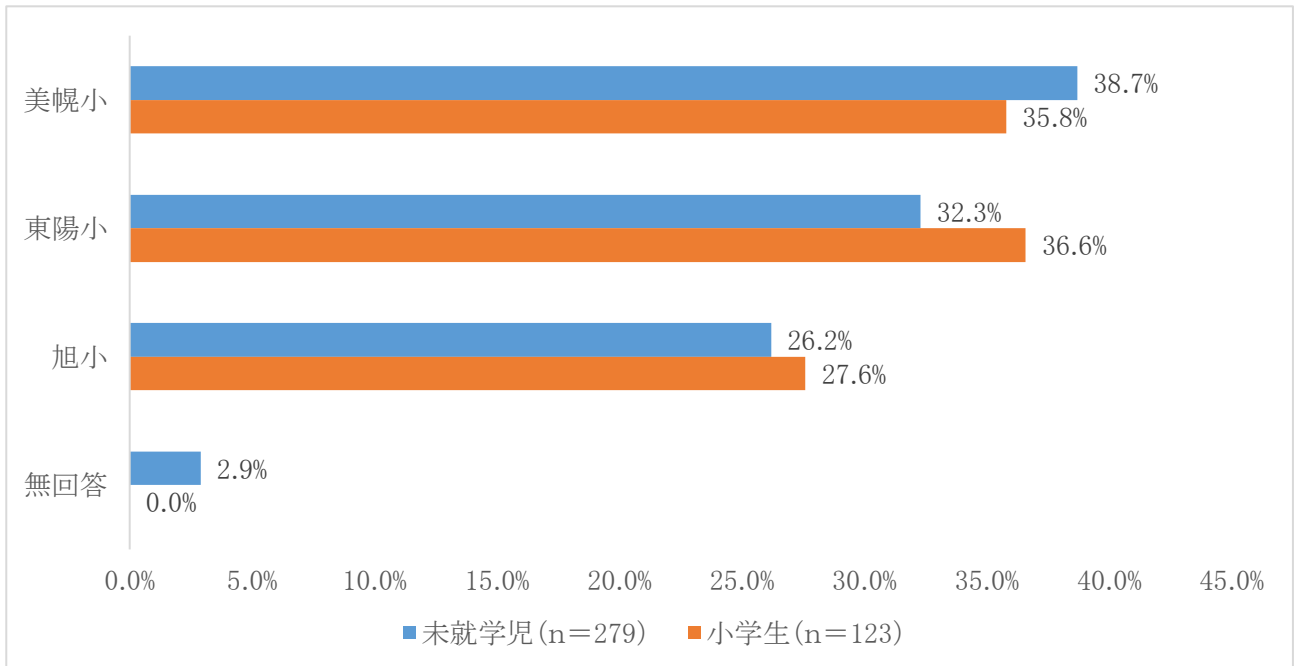
## 5 集計結果の概要

集計結果の概要については、次ページ以降のとおりです。なお、留意点は以下のとおりです。

- ① 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。  
従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、「n=〇〇〇」として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 問い番号の隣の(問〇)は、小学生用調査票の問い番号を示します。
- ④ 【複数回答】とある問いは、1人の回答者が2つ以上の回答をしても良い問いであるため、従って各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ⑤ 文中、図表中の選択肢の文言は作図等の都合により一部簡略化しています。
- ⑥ 問いの中には「～に○を付けた方にうかがいます。」など、いろいろな制限を設けている問いもあり、回答者が少なく、有意性の低いものも含まれます。

## お住まいの地域について【共通】

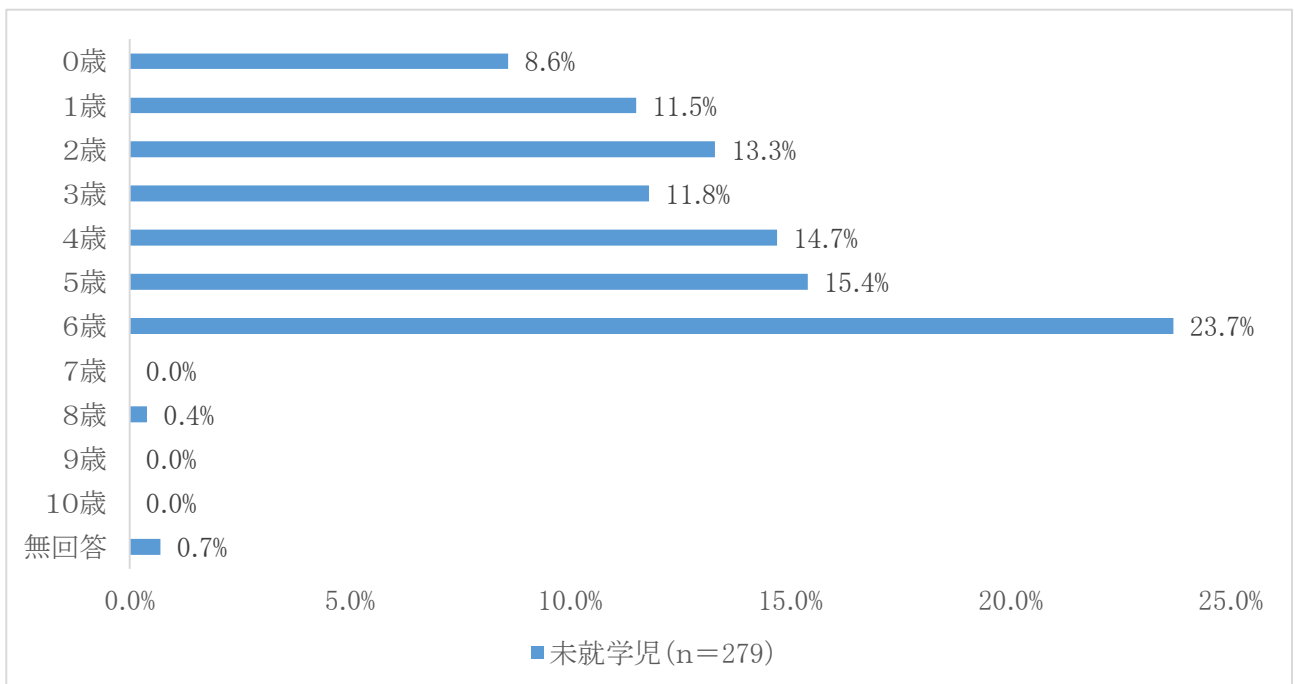
問1 あなたがお住まいの地区を小学校区でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。



未就学児は、「美幌小」がもっとも多く、次いで「東陽小」、「旭小」の順になっています。  
小学生は、「東陽小」と「美幌小」がほぼ同じで、次いで「旭小」の順になっています。

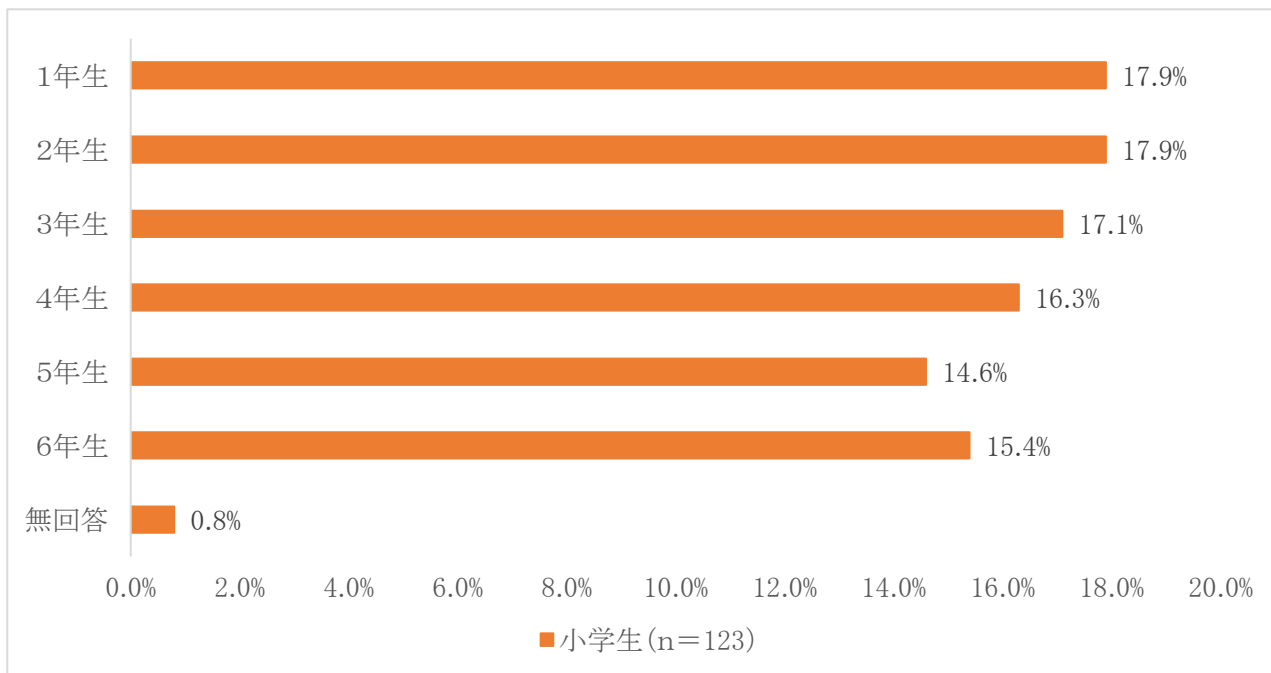
## お子さんご家族の状況について【共通】

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。



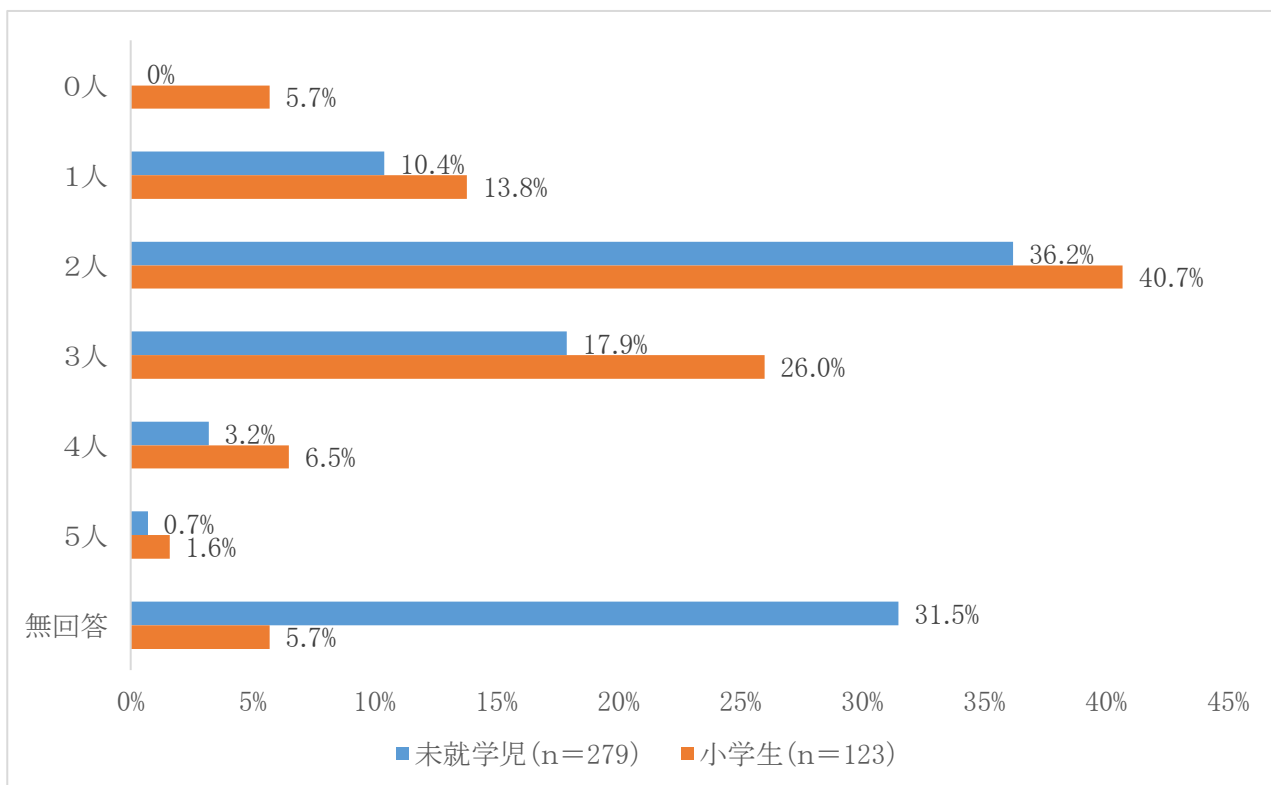
未就学児は、「6歳」がもっとも多く、次いで「5歳」、「4歳」と年齢順となっていますが、「1歳と3歳」を比べてみると「2歳」が若干多くなっています。

(問2) 宛名のお子さんの学年をご記入ください。



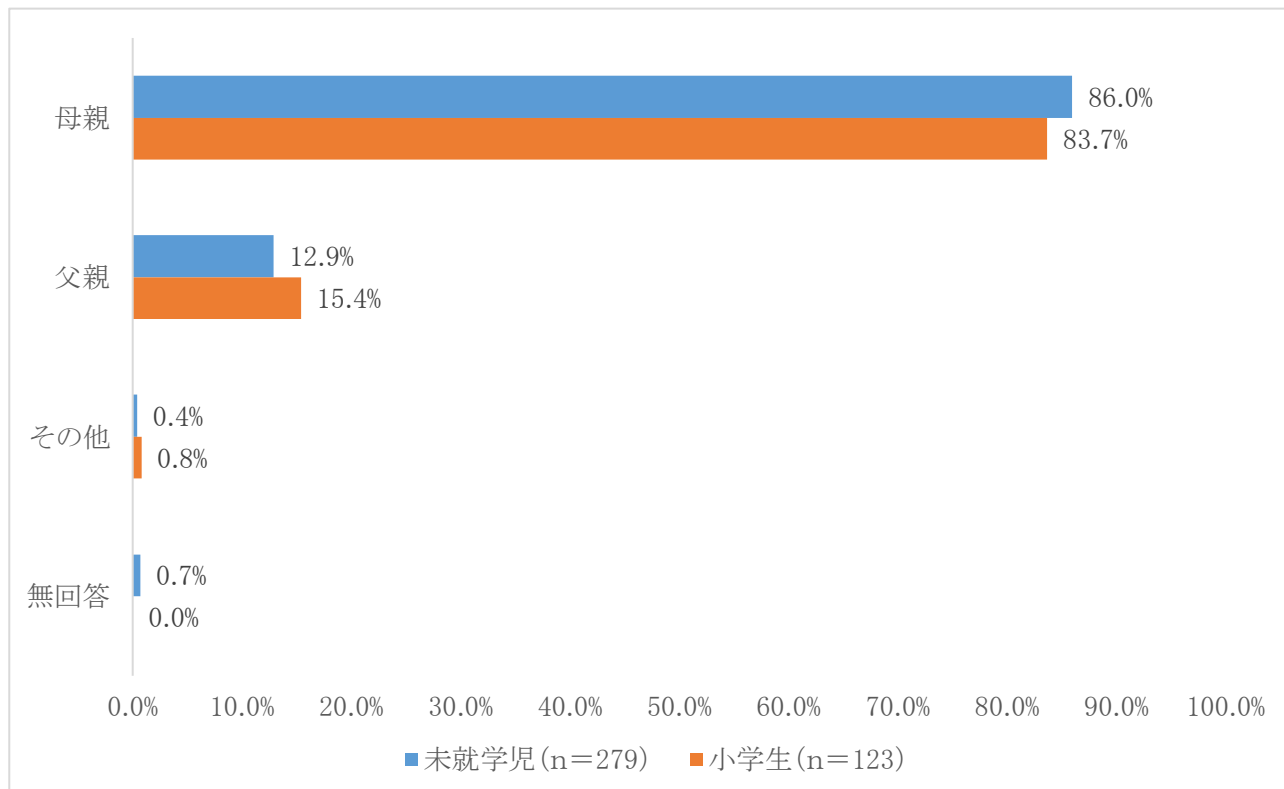
小学生は、「1年生から3年生」がほぼ同じに多く、次いで「4年生」、「6年生」、「5年生」の順になっています。

問3(問3) 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。



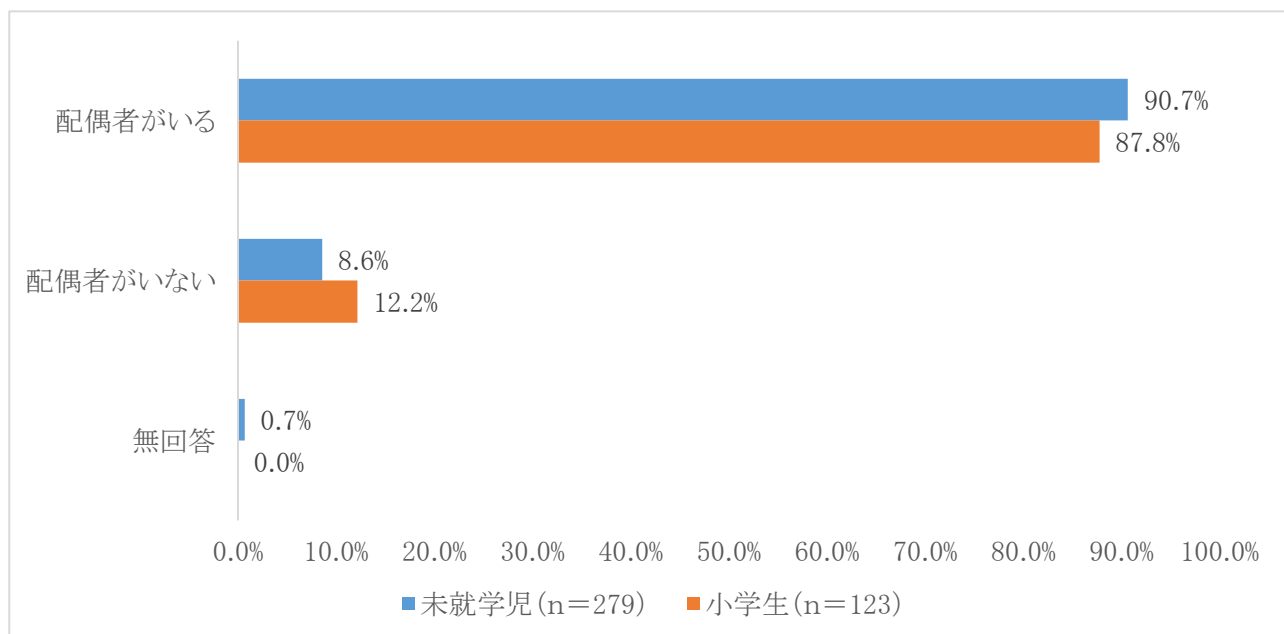
未就学児は、「2人」が最も多く、次いで「3人」、「1人」の順になっています。  
小学生は、「2人」が最も多く、次いで「3人」、「1人」の順になっています。

問4(問4) この調査票にご回答いただく方はどなたですか。



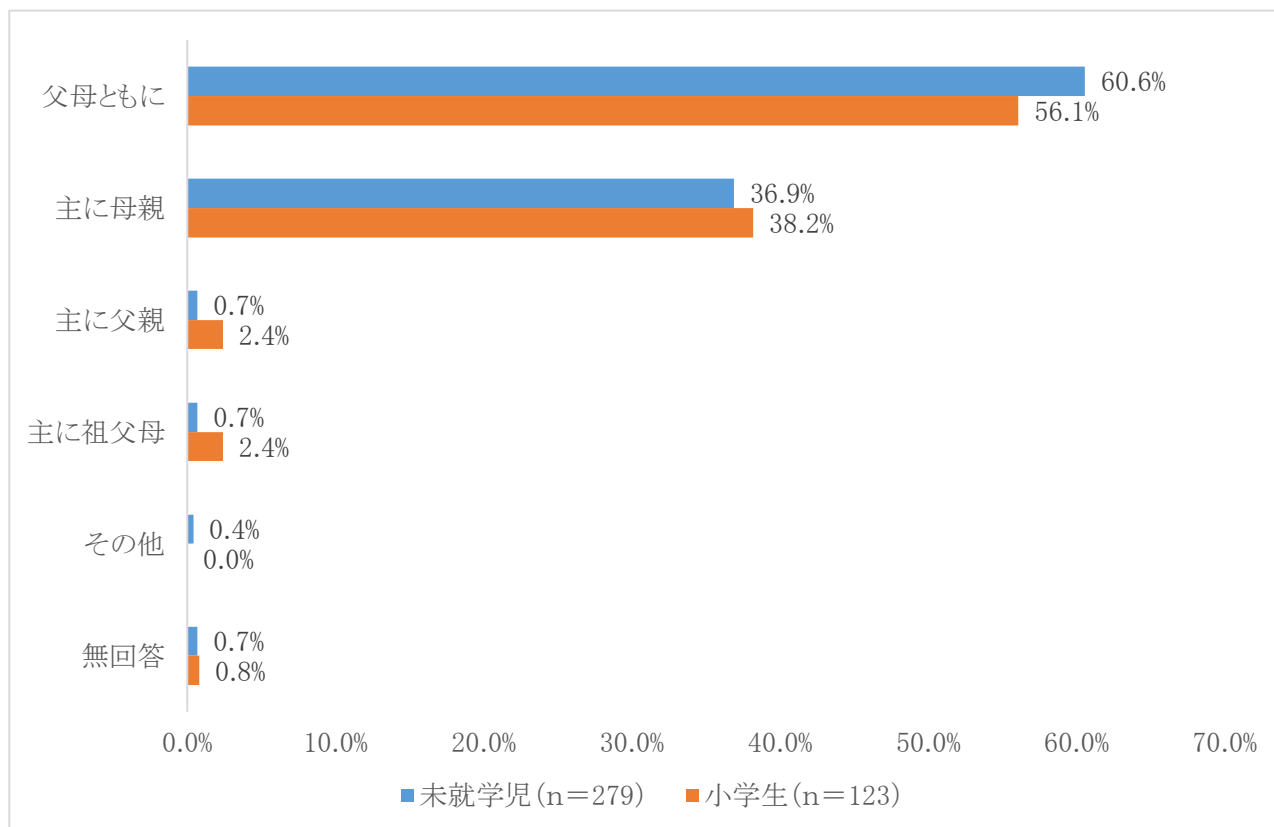
未就学児・小学生ともに、「母親」の回答が約9割を占めており、「父親」は1割程度となっています。

問5(問5) この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。



未就学児・小学生ともに、「配偶者がいる」の回答が約9割を占めており、「配偶者がいない」は1割程度となっています。

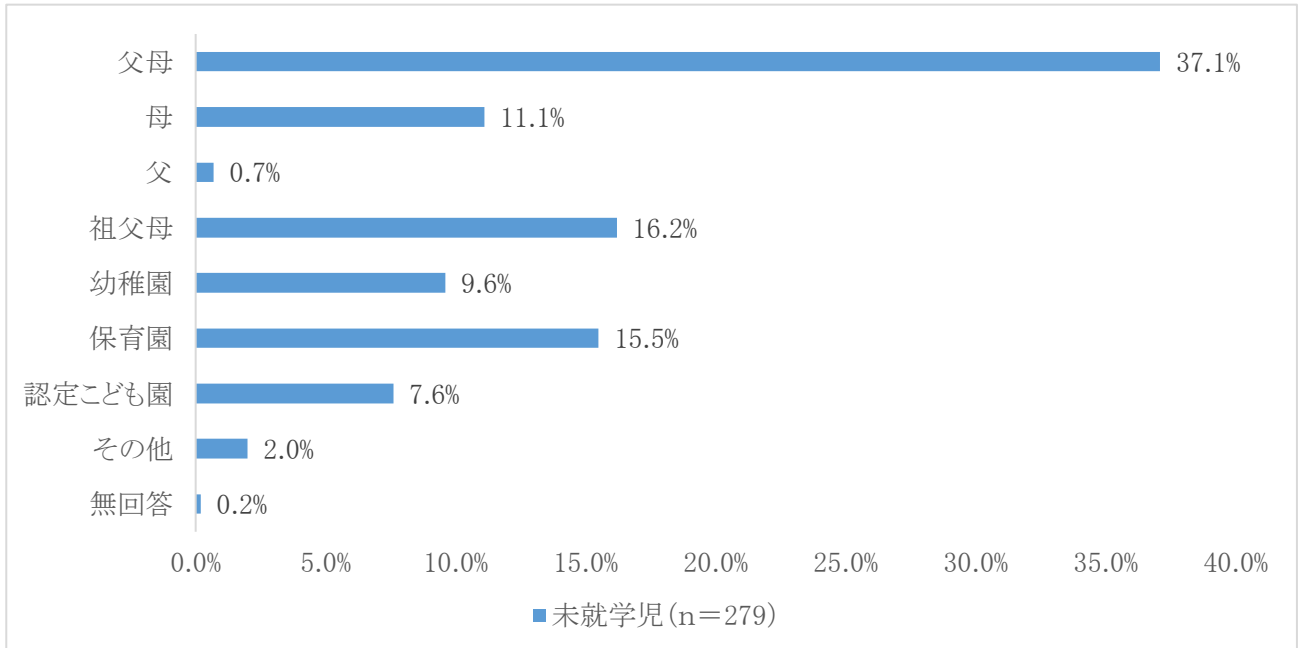
問6(問6) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。



未就学児・小学生ともに、「父母ともに」の回答が約6割を占めており、次いで「主に母親」の回答が約3割を占めています。

## 子どもの育ちをめぐる環境について【共通】

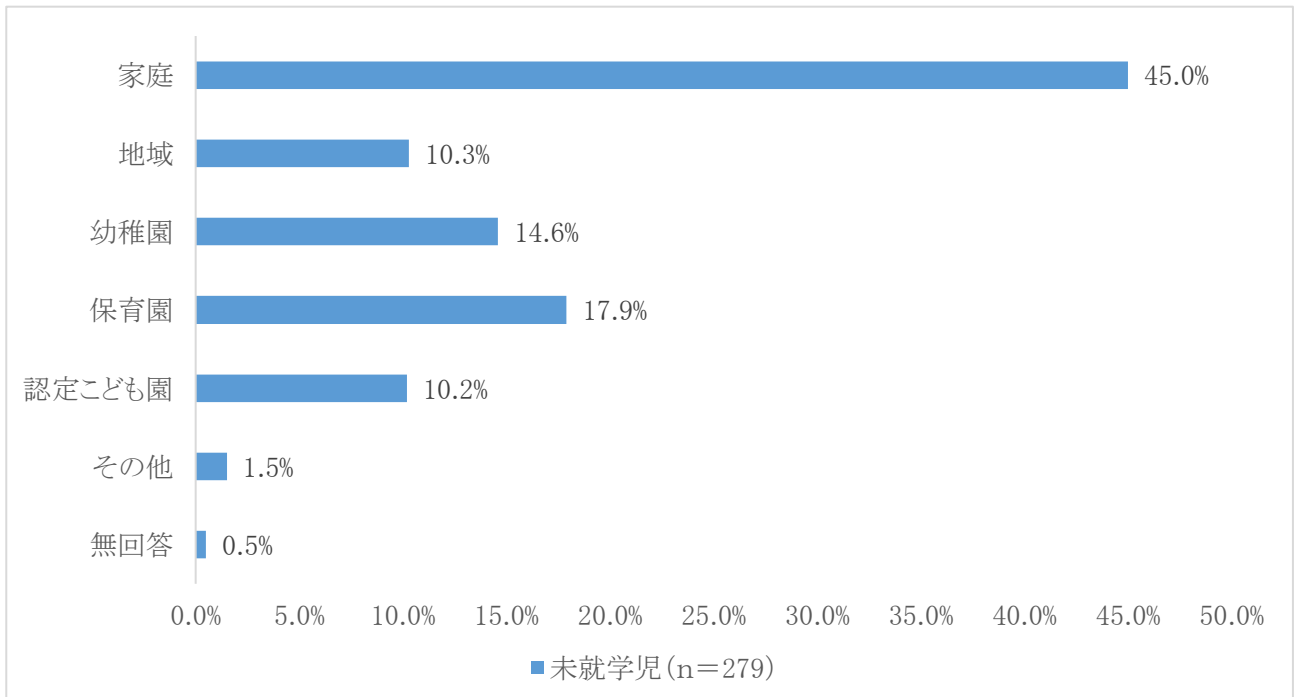
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。【複数回答】



未就学児のみの設問であり、「父母」の回答が約4割を占めており、「祖父母」が約2割となっており、次いで施設である「保育園」「認定こども園」の順となっています。

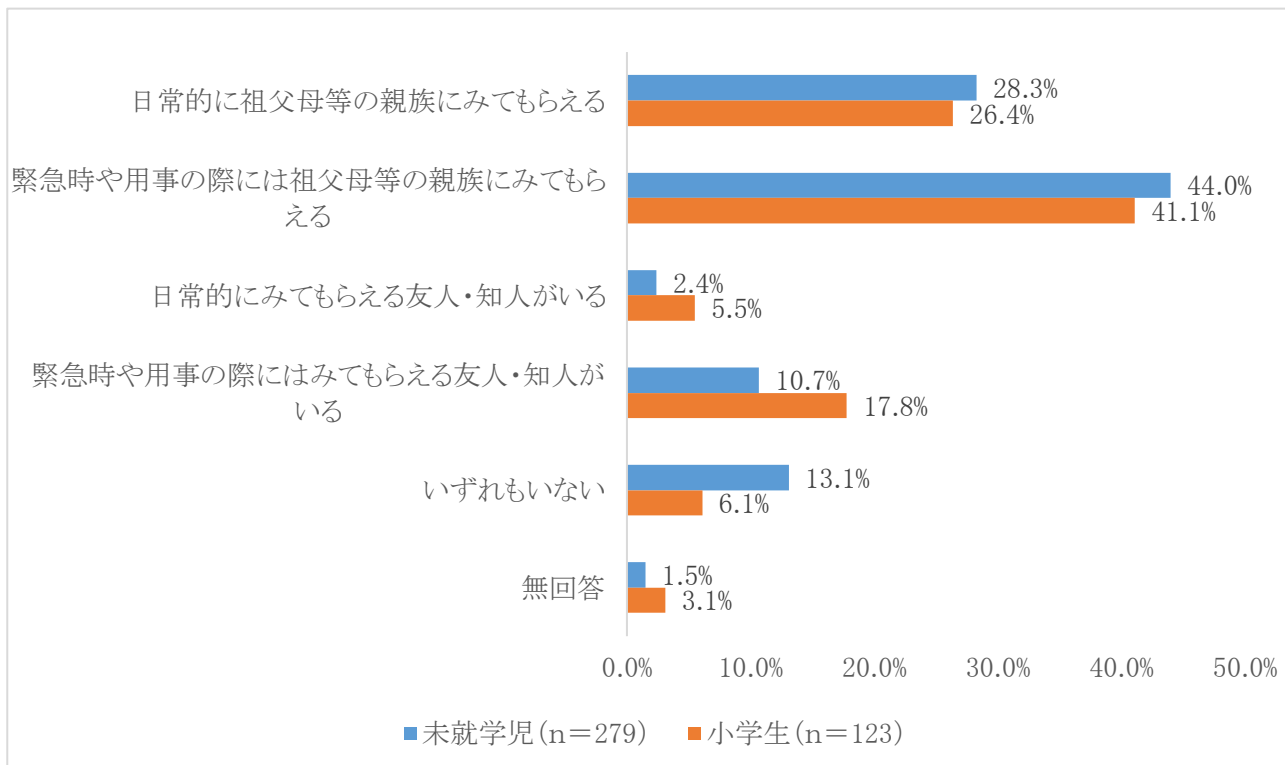
問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

【複数回答】



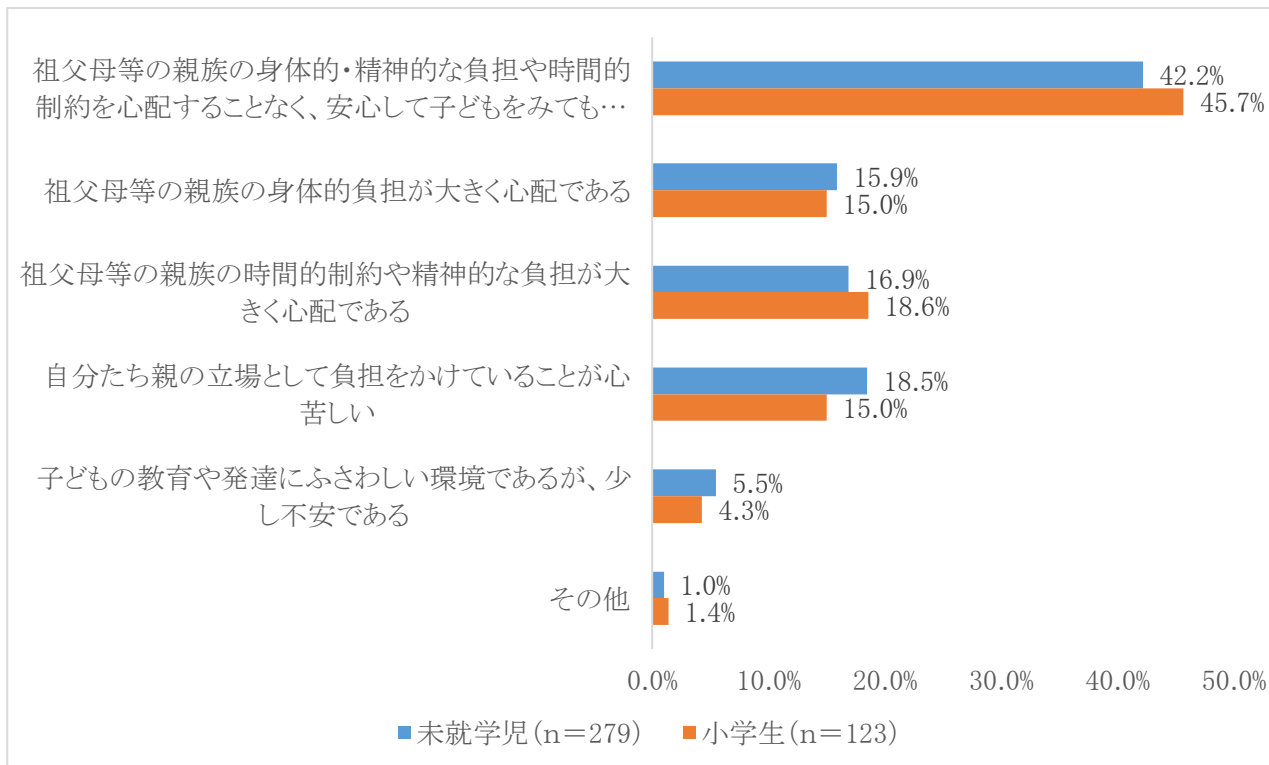
未就学児のみの設問であり、「家庭」が最も多く、次いで施設である「保育園」「幼稚園」「認定こども園」の順となっています。

問9(問7) 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【複数回答】



未就学児・小学生ともに、「日常的にいる」「緊急時にはいる」の「祖父母・親族」が多く占めており、小学生になると若干「日常的にいる」「緊急時にはいる」の「友人・知人」が多くなっています

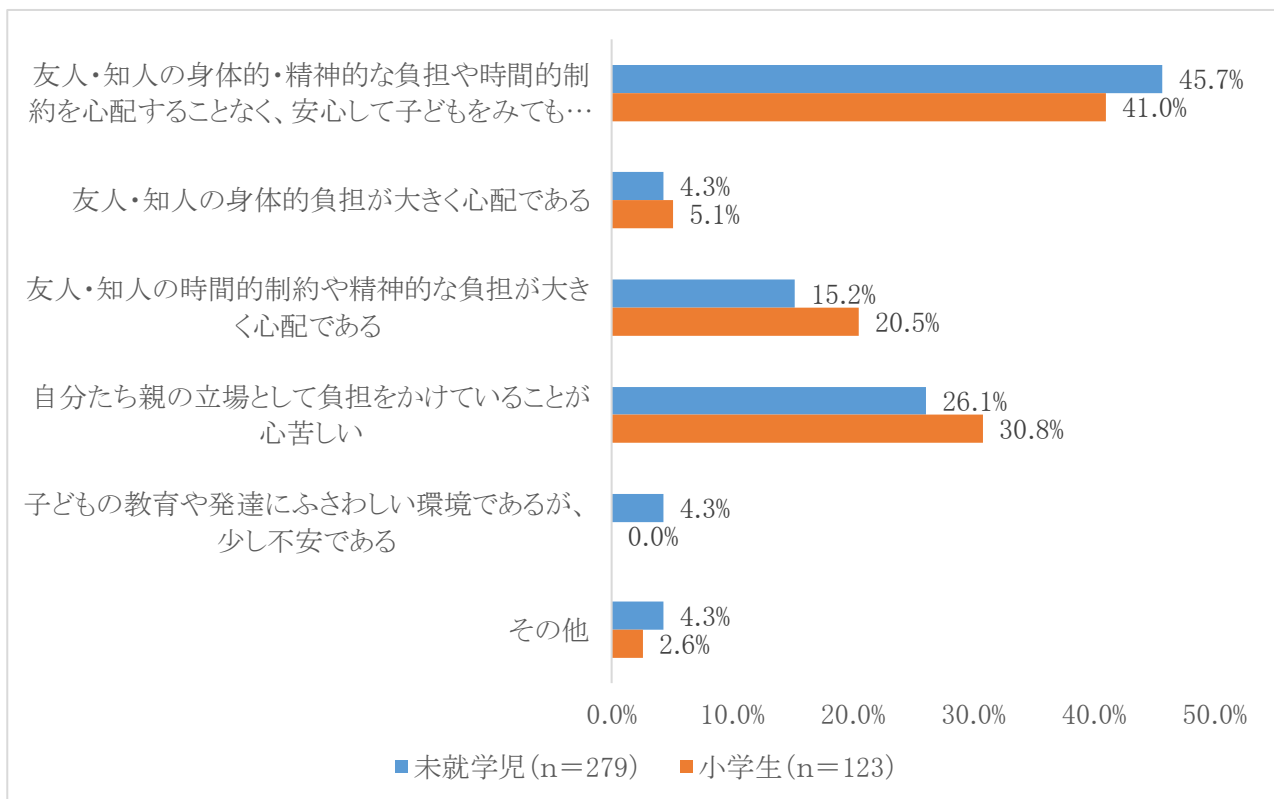
問9-1(問7-1) 問9(問7)で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】



未就学児・小学生ともに、「祖父母等の親族に安心してみてもらえる」の回答が約5割を占めており、次いで、「心配」「負担」の回答が約4割を占めている状況となっています。

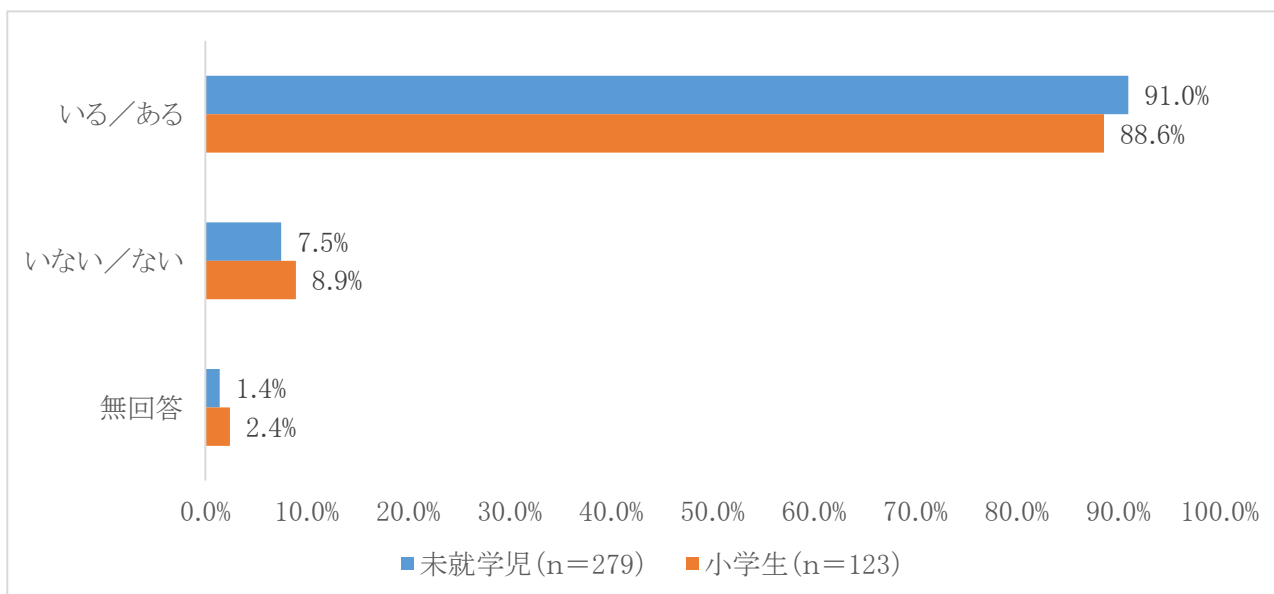


問9-2(問7-2) 問9(問7)で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。【複数回答】



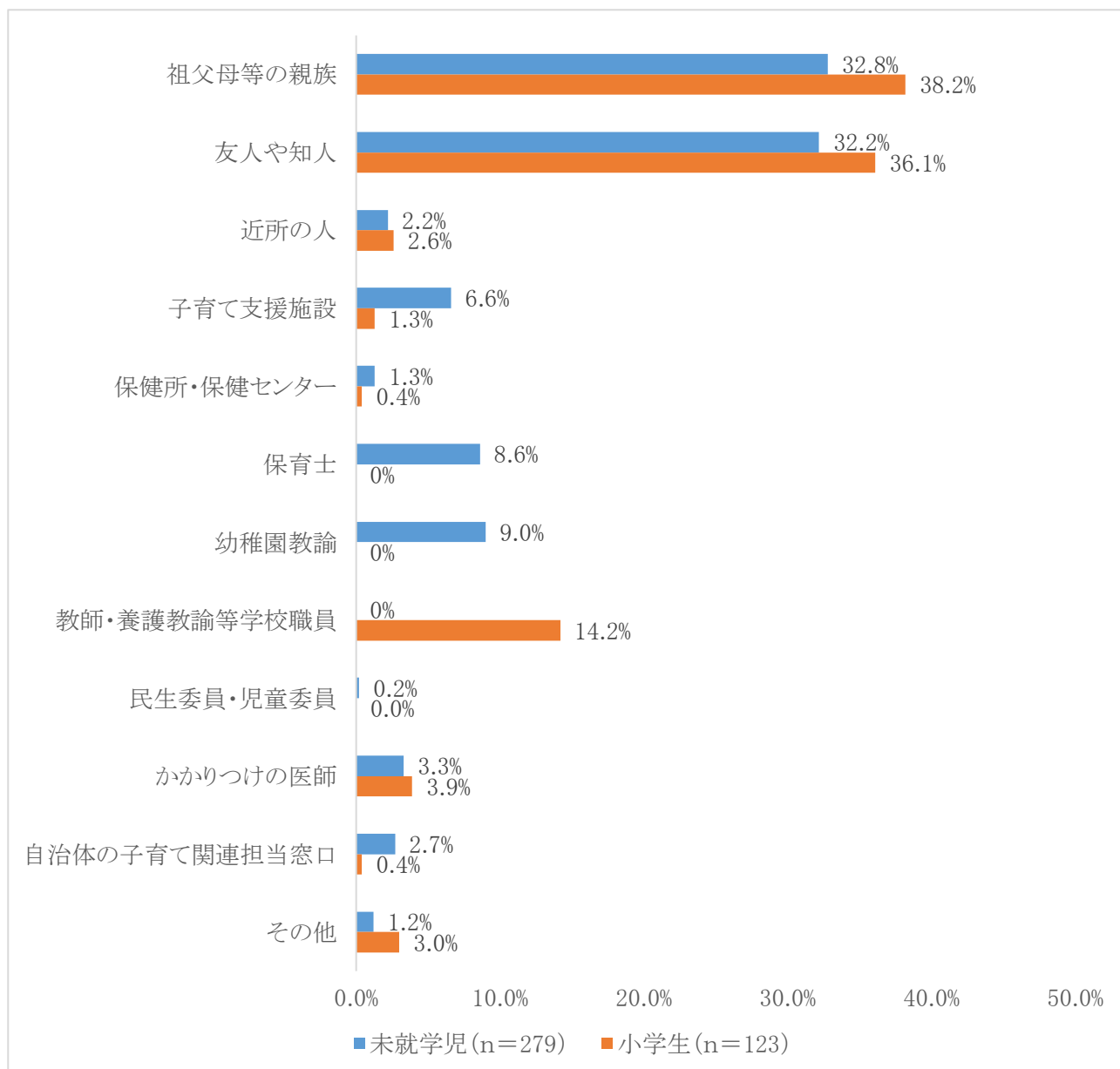
未就学児・小学生ともに、「友人・知人等に安心してみてもらえる」の回答が4割と占めており、次いで、「負担」「心配」の回答が約6割を占めている状況となっています。

問10(問8) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(配偶者・パートナー以外)・場所はありますか。



未就学児・小学生ともに、約9割の方が、子育てを気軽に相談できる人(場所)があると回答しています。

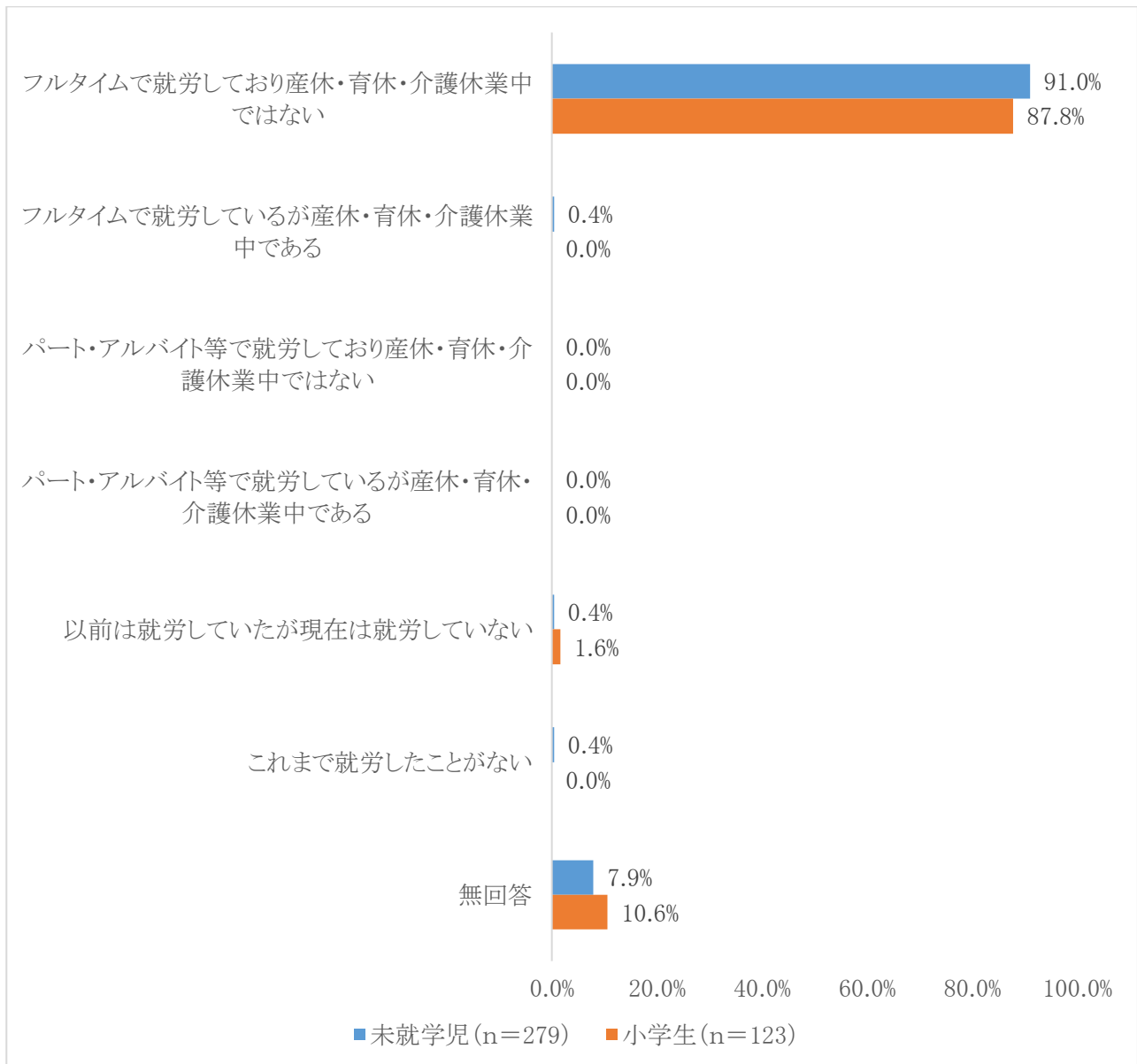
問10-1(問8-1) 問10(問8)で「1.いる／ある」に○をつけた方にかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。



未就学児・小学生ともに、「祖父母等の親族」「友人や知人」の回答が約7割を占めています。次いで、未就学児は、「幼稚園教諭」「保育士」「子育て支援施設」の回答が約2割を占めており、小学生は、「教師等」の回答が約2割と占めており、関りが近い人(施設)の状況となっています。

## 保護者(父親)の就労状況について【共通】

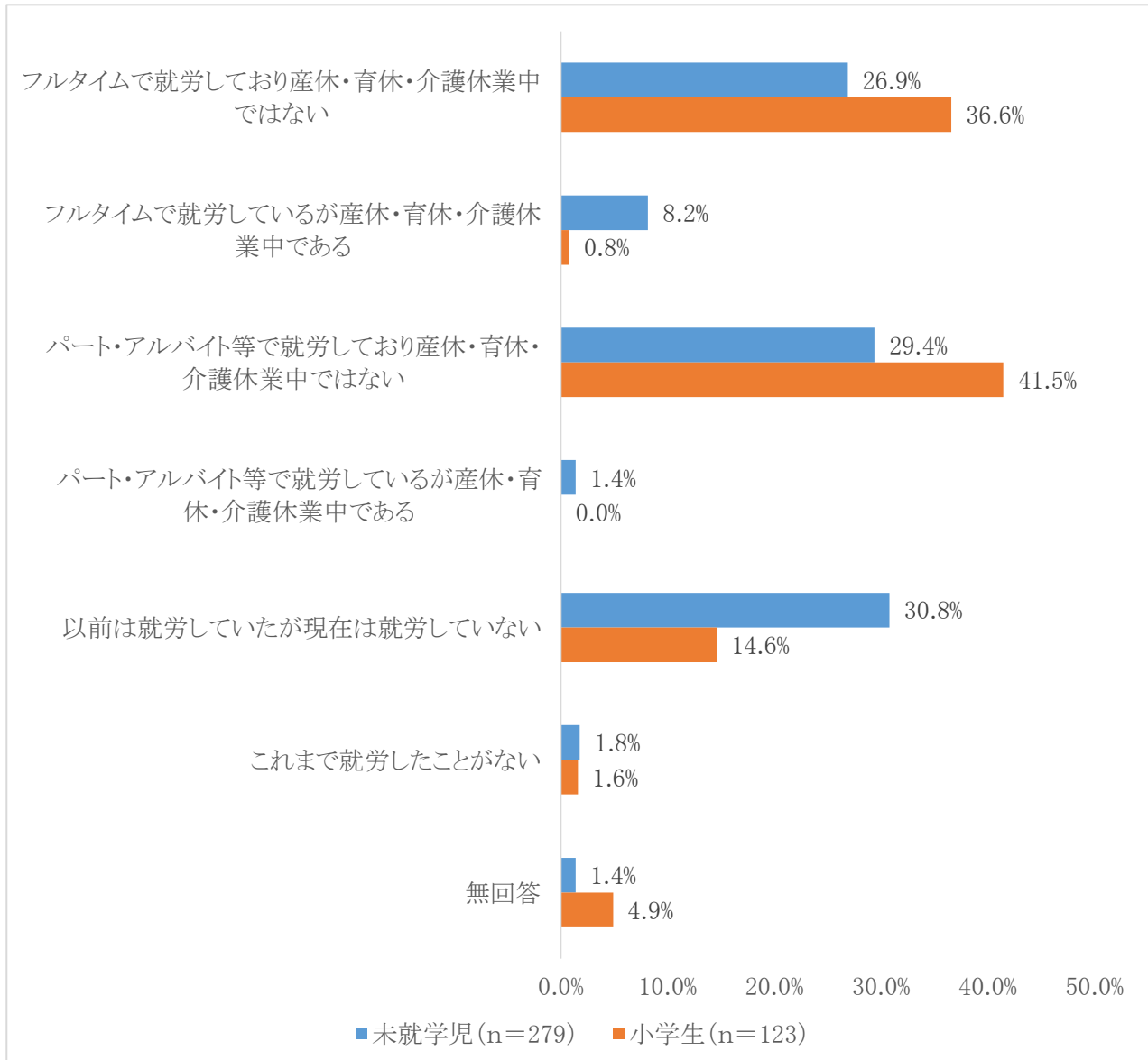
問12(問10) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。



未就学児・小学生ともに、「フルタイム就労」が最も多く、約9割を占めています。

## 保護者(母親)の就労状況について【共通】

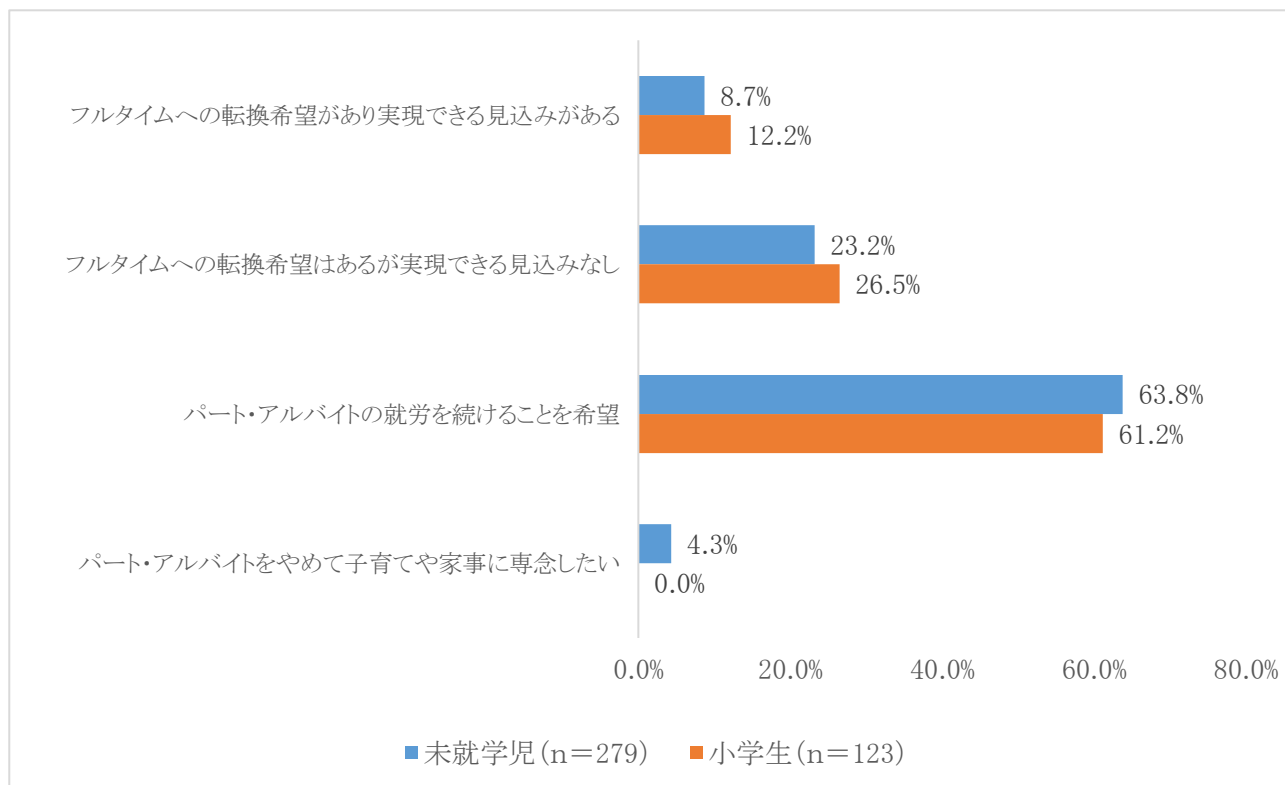
問12(問10) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。



未就学児は、「現在就労していない」が最も多く、ほぼ同じくして「パート・アルバイト等」でそれぞれ合わせて約6割を占めており、次いで「フルタイム」の回答が約3割を占めている状況となっています。

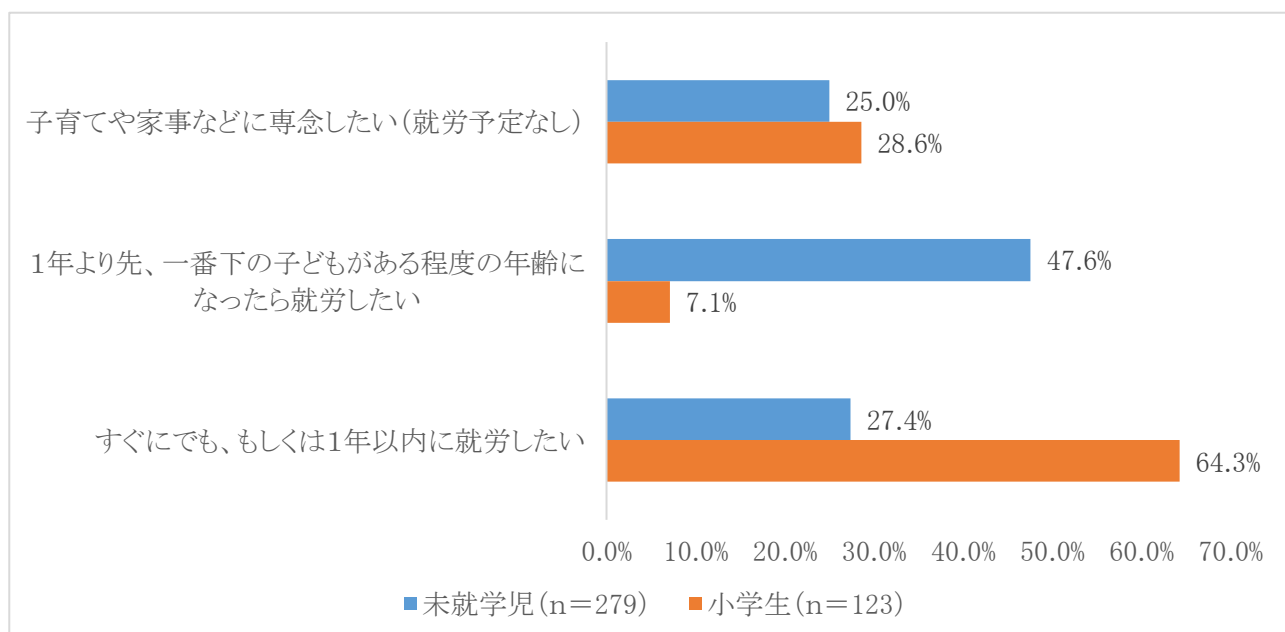
小学生は、「パート・アルバイト等」が最も多く、ほぼ同じくして「フルタイム」でそれぞれ合わせて約8割を占めており、次いで「現在就労していない」の回答が約1割弱を占めている状況となっています。

問13(問11) 問12(問10)の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。



未就学児・小学生ともに、「パート・アルバイト等の就労継続の希望」が約6割をしめており、次いで、「フルタイムの転換希望だが見込みなし」「フルタイムの転換希望で見込みあり」の順となっています。

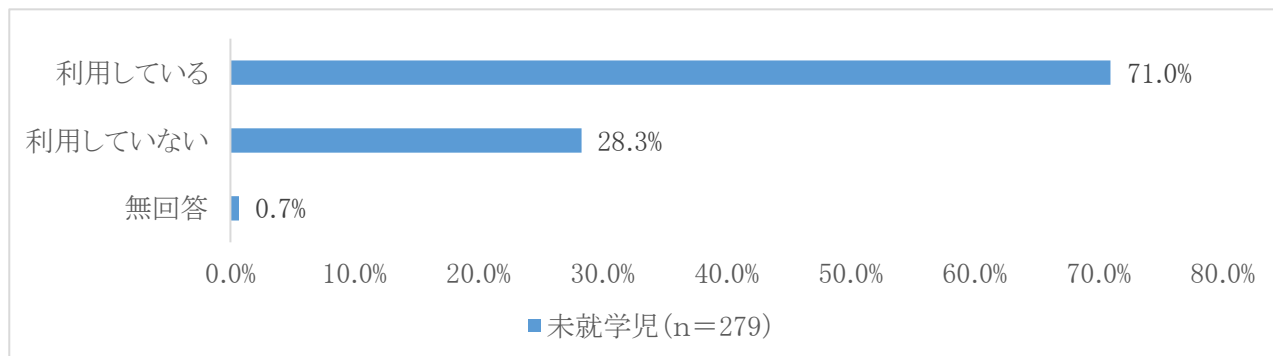
問14(問12) 問12(問10)の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。



未就学児は、「一番したの子どもがある程度の年齢になれば就労したい」の回答が約5割と最も多く、次いで「すぐ、もしくは1年以内に就労したい」と続いており、子どもの年齢は平均で3.7歳となっています。小学生は、「すぐ、もしくは1年以内に就労したい」が最も多く、次いで「就労予定なし」の状況となっています。

## 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について【未就学児のみ】

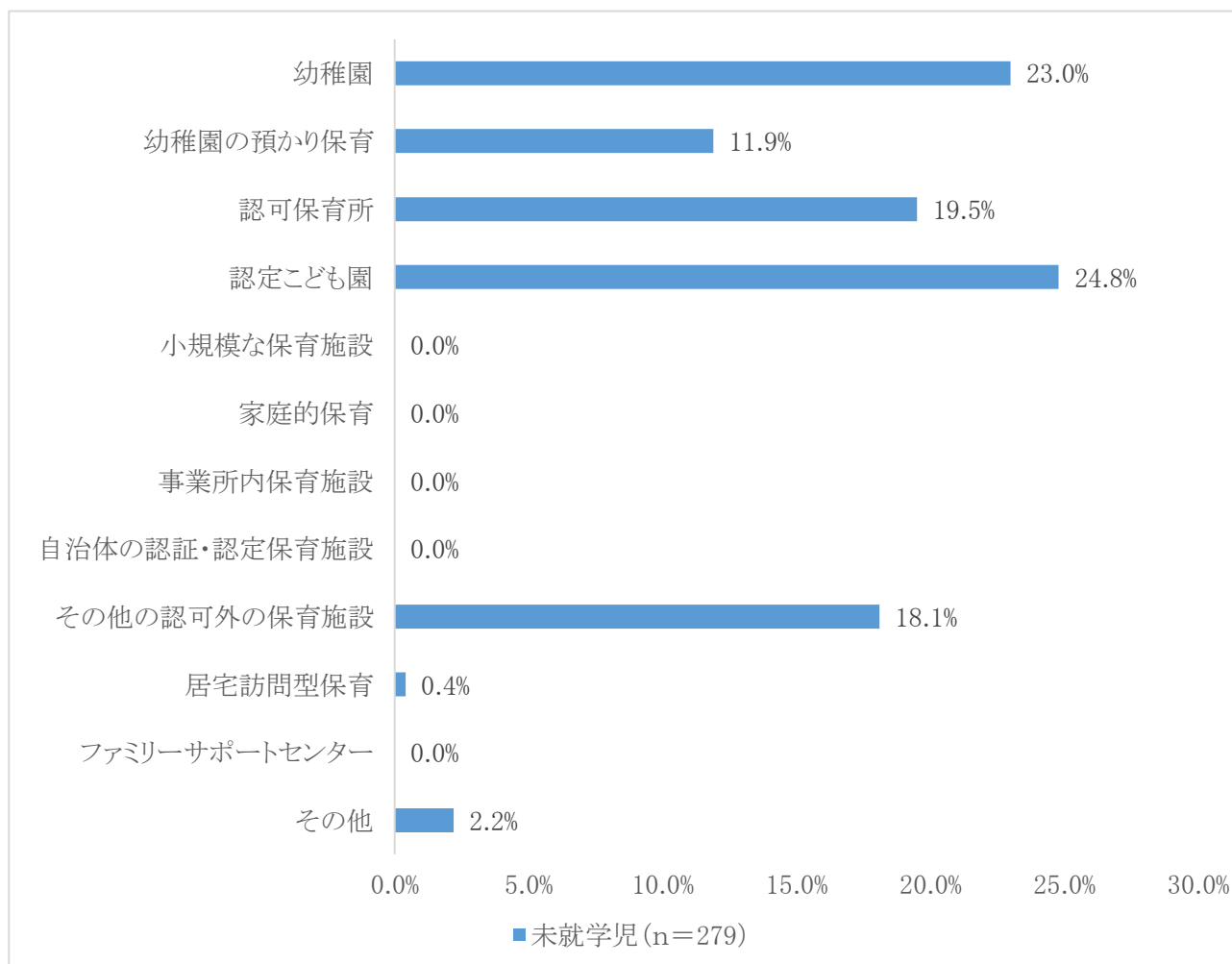
問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。



「幼稚園・保育所などを利用している」の回答が約7割を占めている状況であり、「利用していない」の回答が約3割を占めている状況となっています。

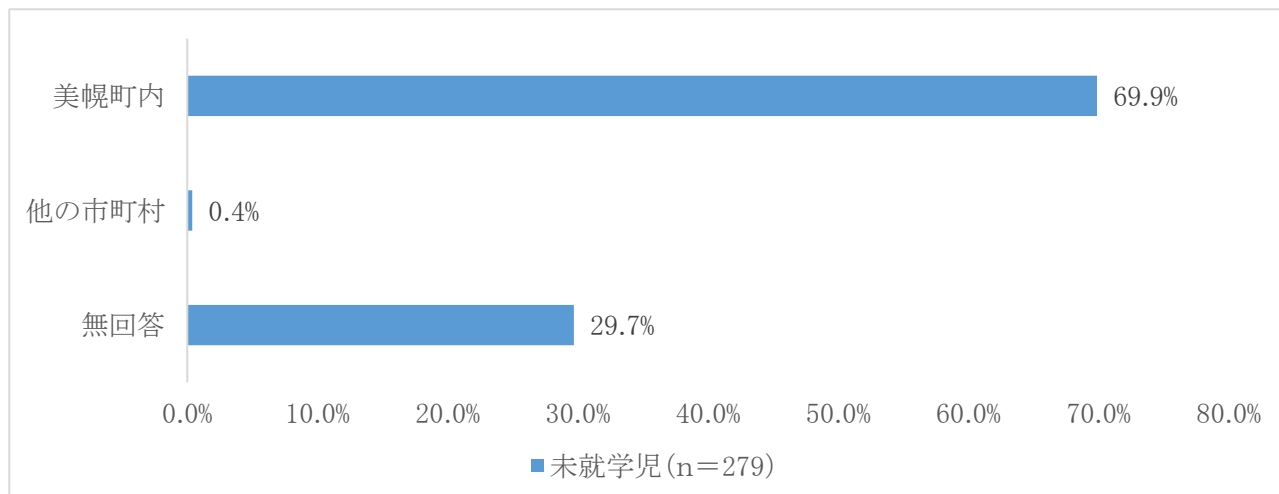
問15-1 問15-1～問15-4は、問15で「1.利用している」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。【複数回答】



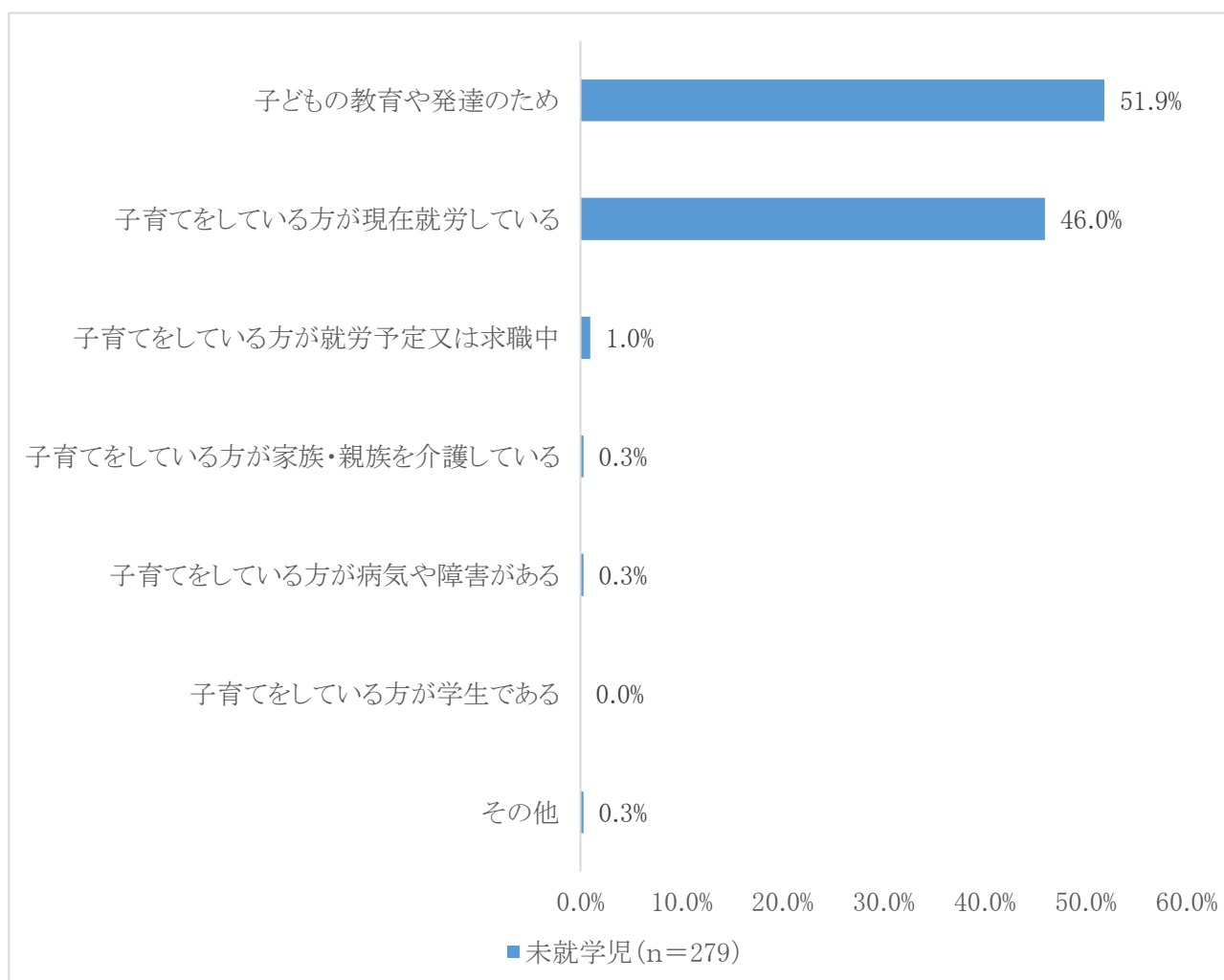
定期的に利用している施設は、「認定こども園」「幼稚園」「認可保育所」「認可外保育所」の順となっており、次いで、「幼稚園の預かり保育」となっています。

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。



施設の実施場所は、「美幌町内」が約7割を占めており、「無回答」が約3割を占めている状況となっています。

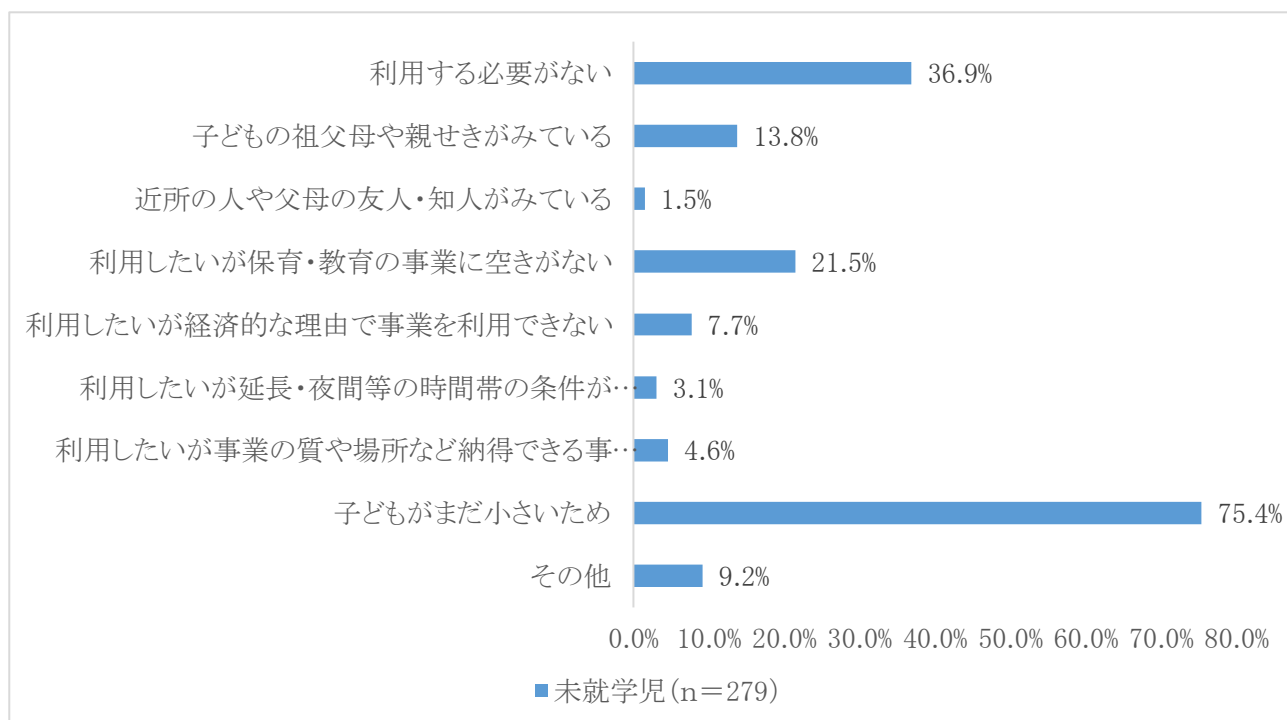
問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。【複数回答】



利用している理由は、「教育や発達のため」「現在就労中」の回答が約9割強を占めている状況となっています。

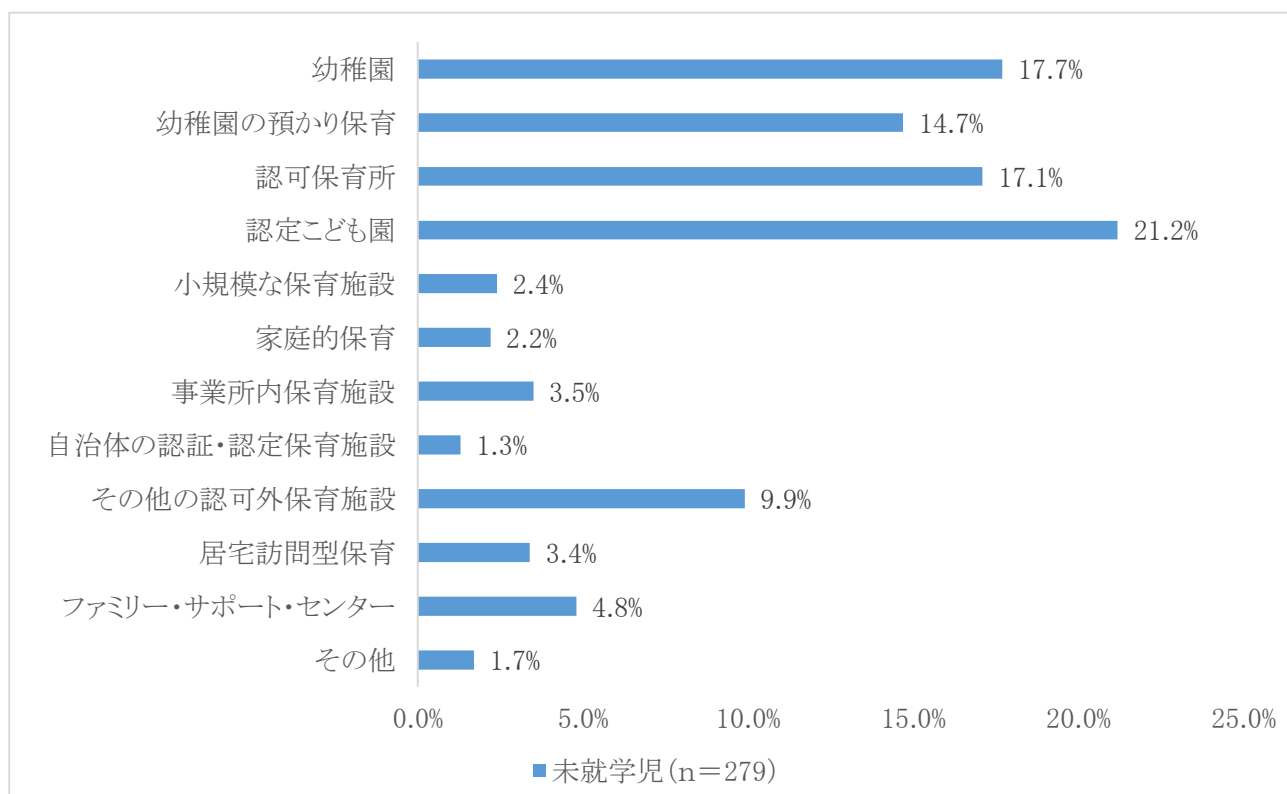
問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にかかっています。利用していない理由は何ですか。

【複数回答】



利用していない理由は、「子どもがまだ小さい」が最も多く、次いで「必要がない」、「空きがない」と続いており、この3つが主な理由となっています。

問16 すべての方にかかっています。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。【複数回答】

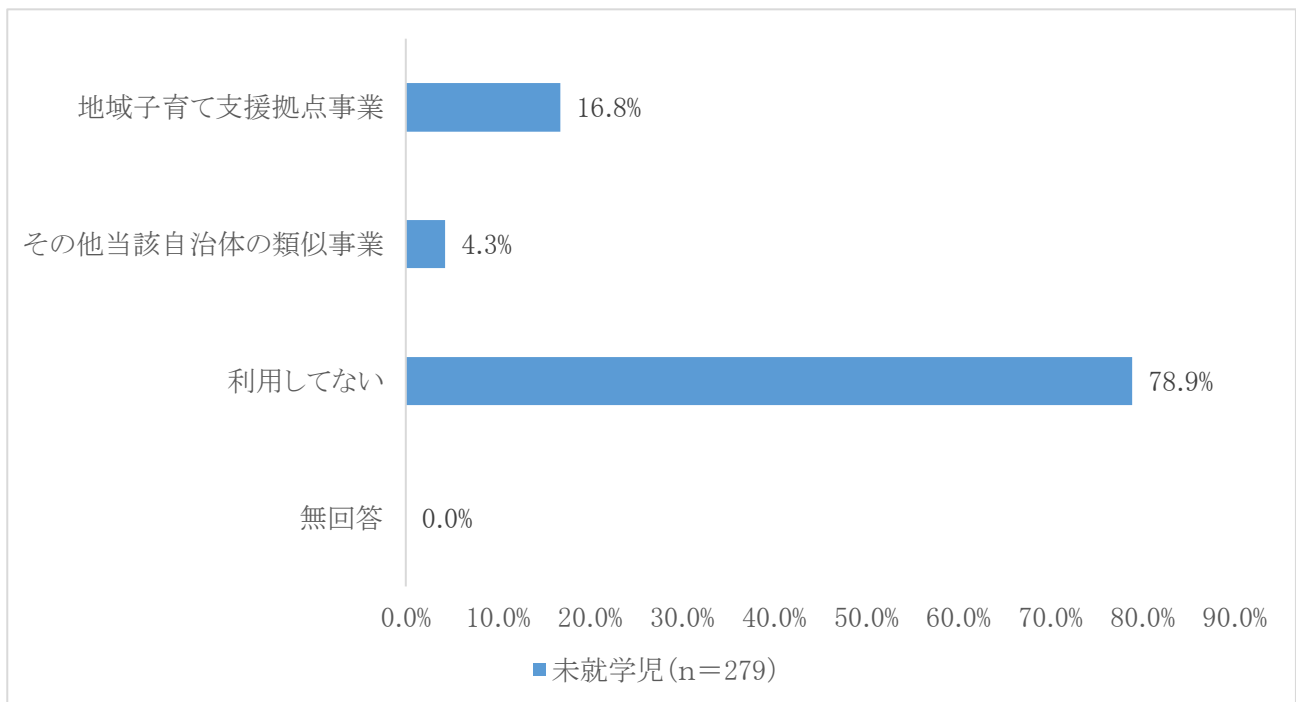


利用したいと考える事業は、「認定こども園」「幼稚園」「保育所」「預かり保育」「認可外保育」の順となっています。



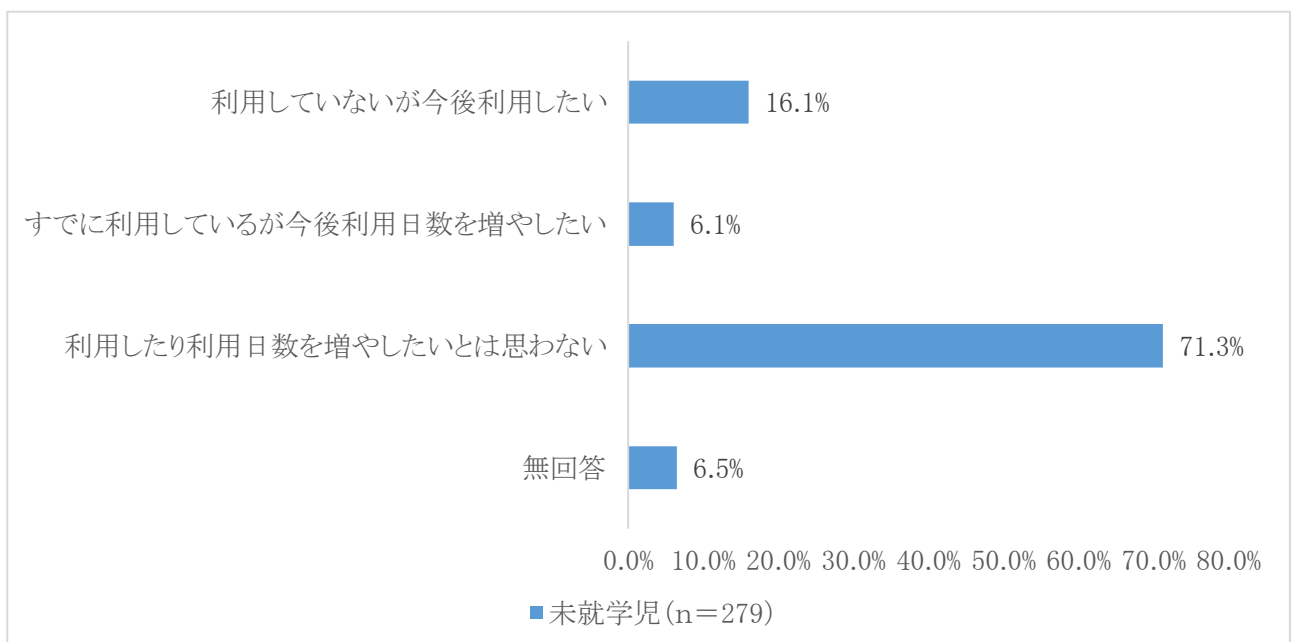
## 地域の子育て支援事業の利用状況について【未就学児のみ】

問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。【複数回答】



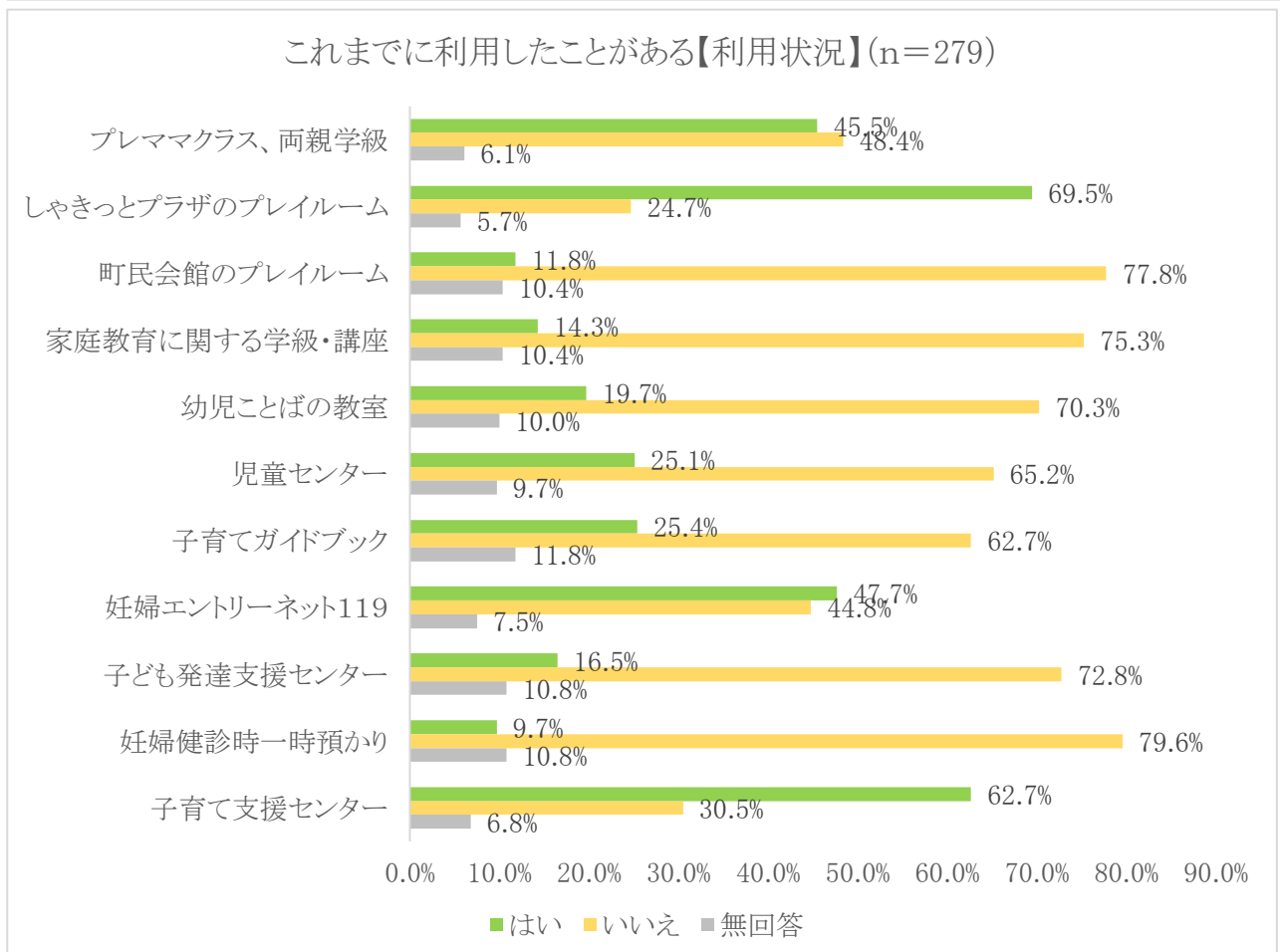
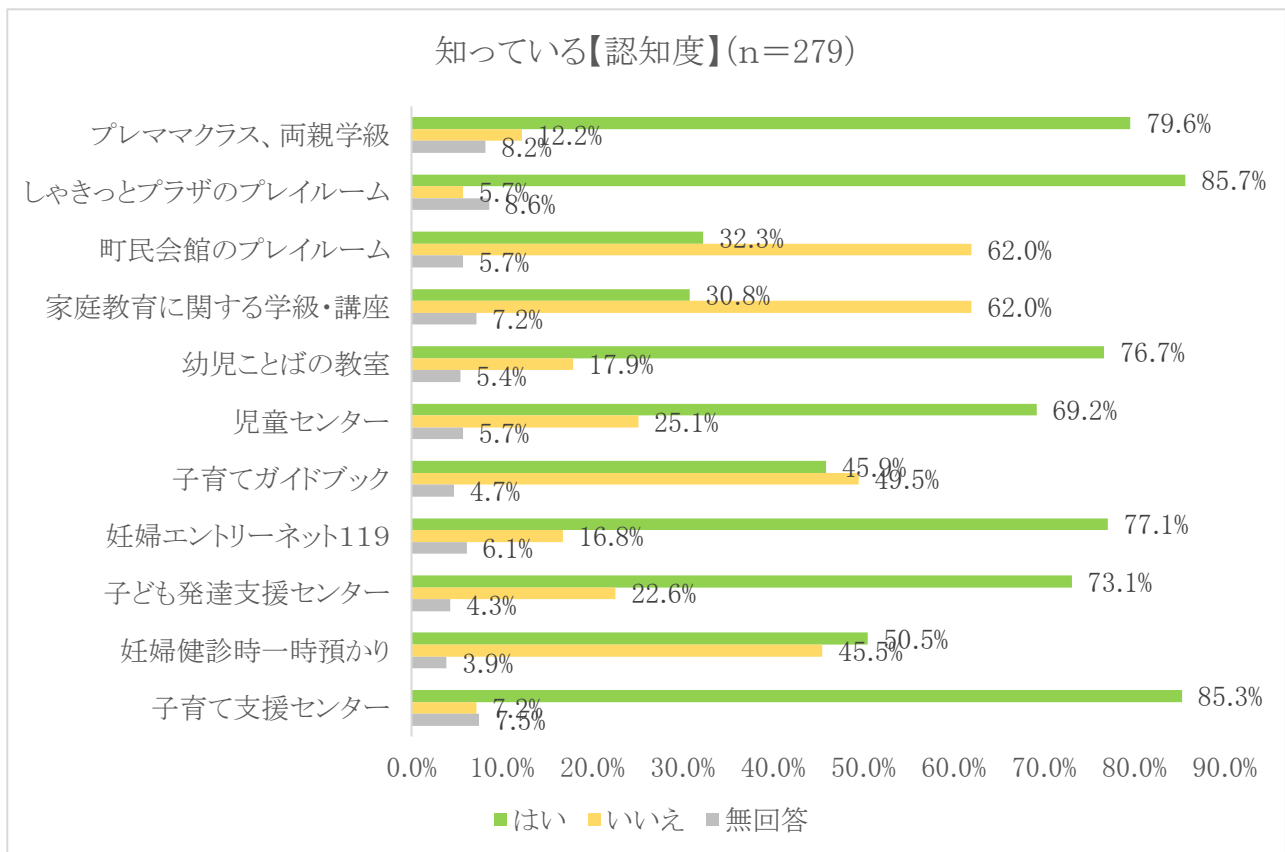
子育て支援センターの利用状況は、「利用している」は約2割を占めており、「利用していない」が約8割を占めている状況となっています。

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

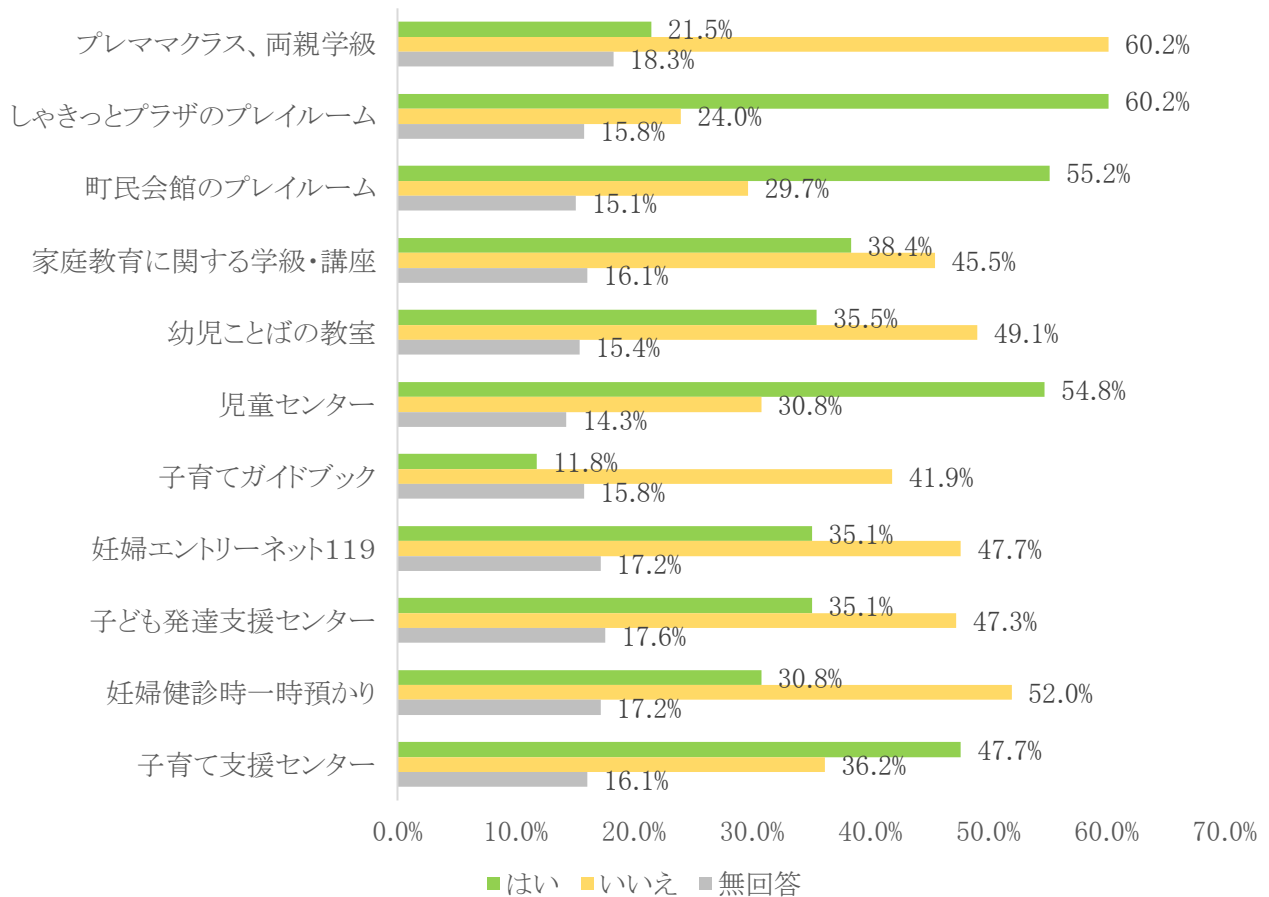


子育て支援センターの今後の利用意向は、「今後利用したい」「利用を増やしたい」が約2割を占めており、「利用しない等」は約7割を占めている状況となっています。

問19 下記の事業及び施設で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。



今後利用したい【利用希望】(n=279)



認知度・利用状況・利用希望ともに高い事業(施設)は、「しゃきっとプラザのプレイルーム」「妊婦エントリーネット119」「子育て支援センター」となっています。

認知度では、ほぼ横ばいで7割前後の認知度があるが、「町民会館のプレイルーム」「家庭教育に関する学級・講座」は約3割程度に留まっている状況となっています。

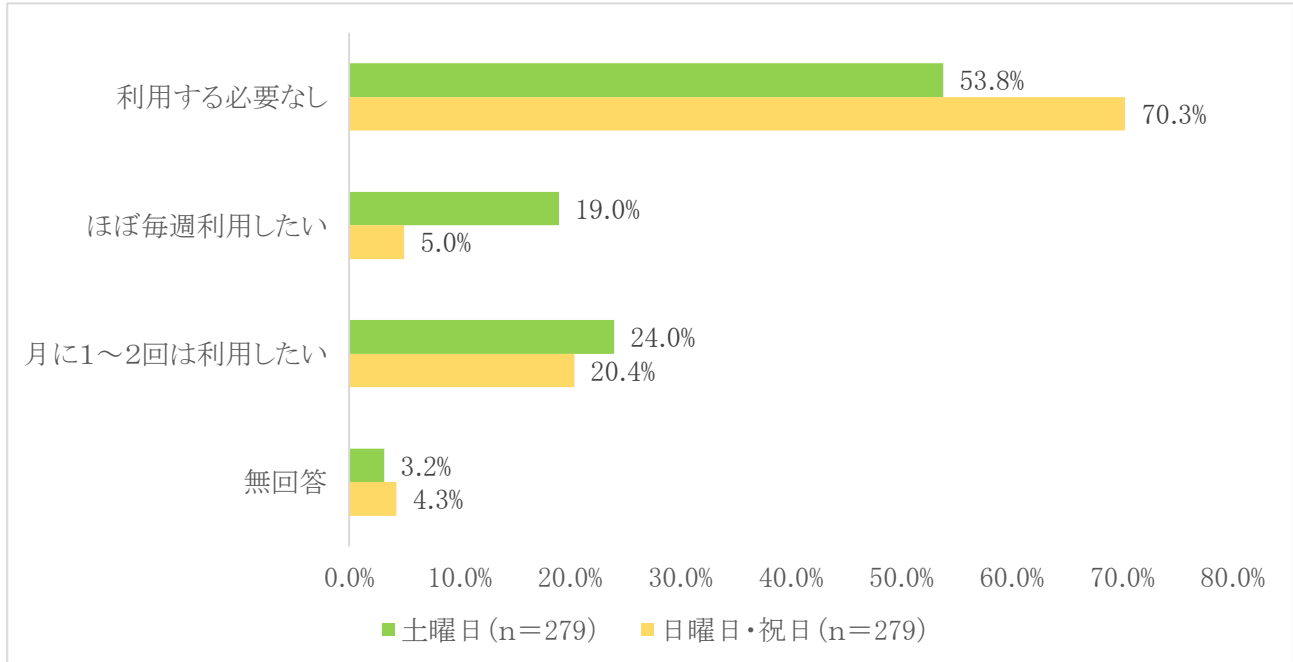
利用状況では、「しゃきっとプラザのプレイルーム」「子育て支援センター」「妊婦エントリー119」「プレママクラス」の主な4つが占めており、その他の事業(施設)は利用したことがないが多い状況となっています。

利用希望では、約5割強となっている事業(施設)は「しゃきっとプラザ」「町民会館のプレイルーム」「児童センター」の主な3つが占めており、その他の事業(施設)はほぼ横ばいで3~4割を占めている状況となっています。

## 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な

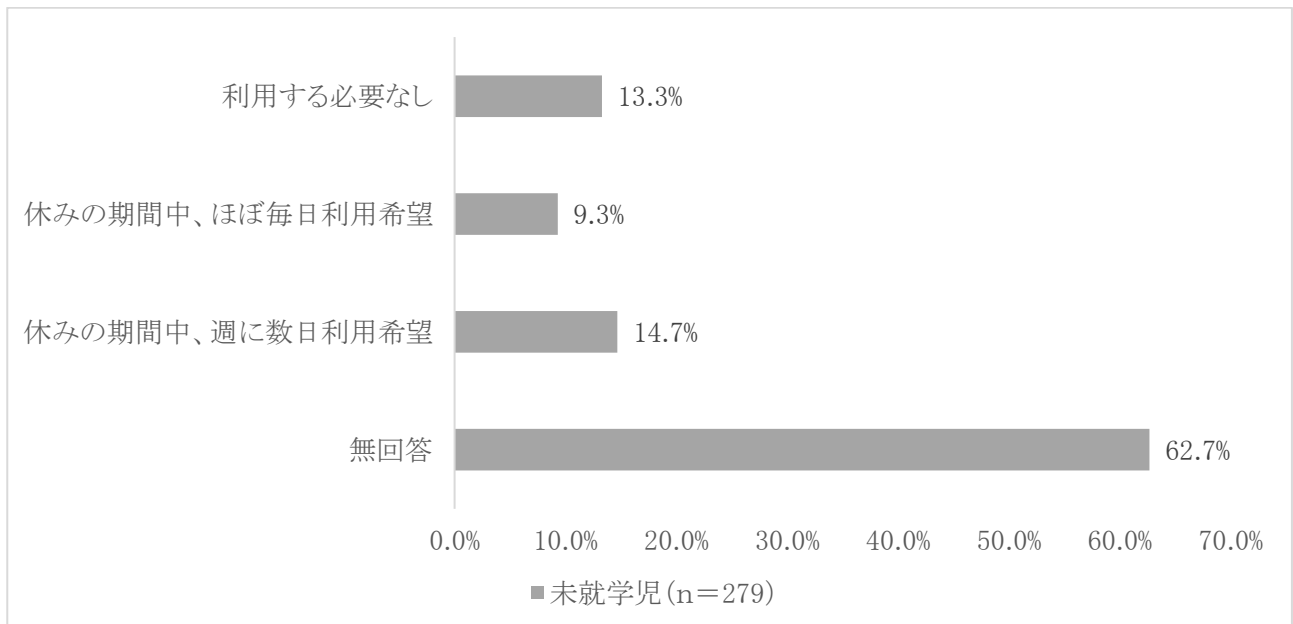
### 教育・保育事業の利用希望について【未就学児のみ】

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか



土曜、日曜日・初日ともに、「利用する必要なし」が最も多く、次いで、「月1～2回の利用」と続いている状況となっています。

問21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

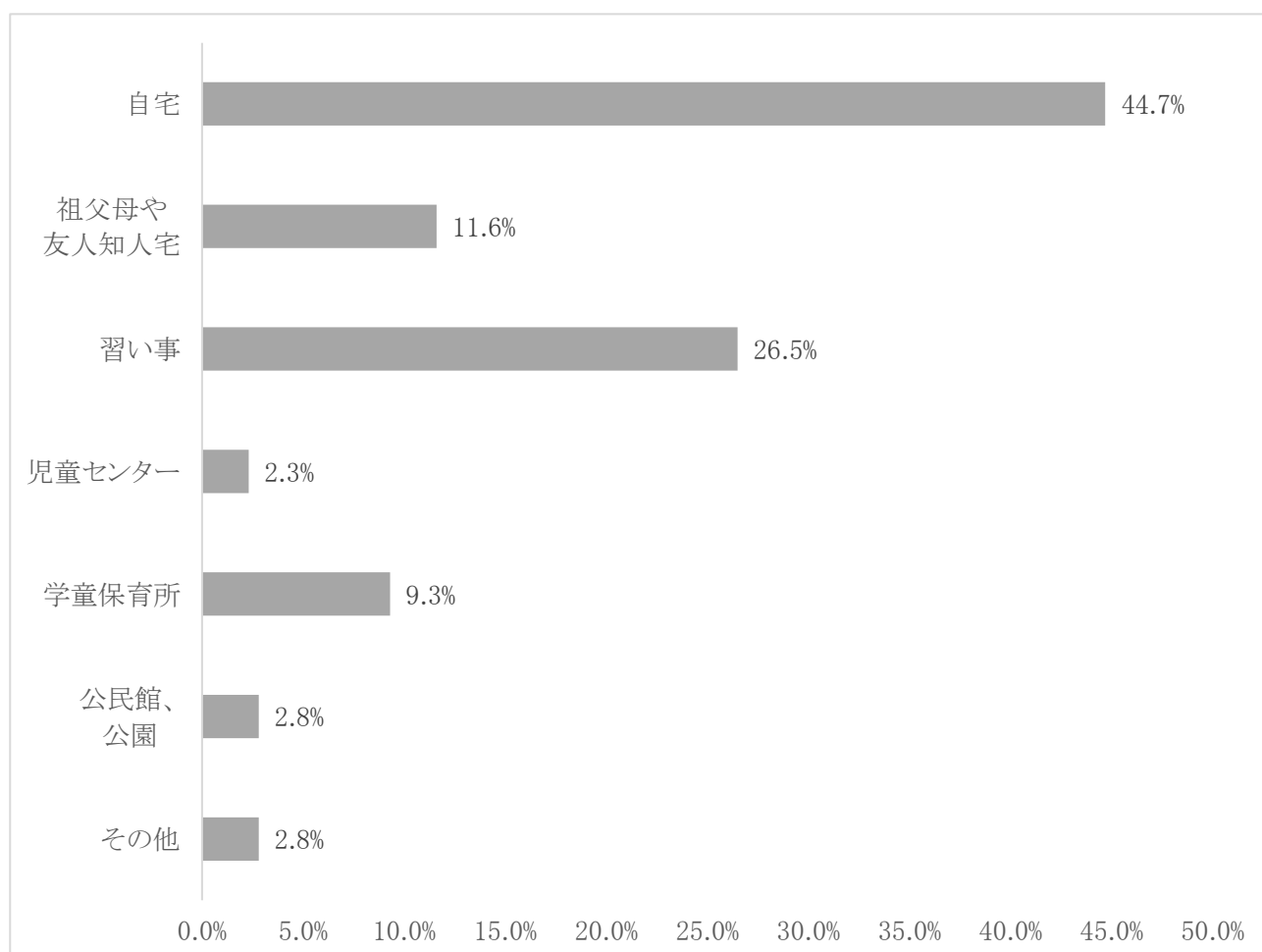


長期休暇期間中の利用では、「無回答」が最も多く、「数日程度の利用」「利用する必要なし」「ほぼ毎日」の順となっており、割合はほぼ横並びとなっている状況となっています。

## 放課後の過ごし方について【小学生のみ】

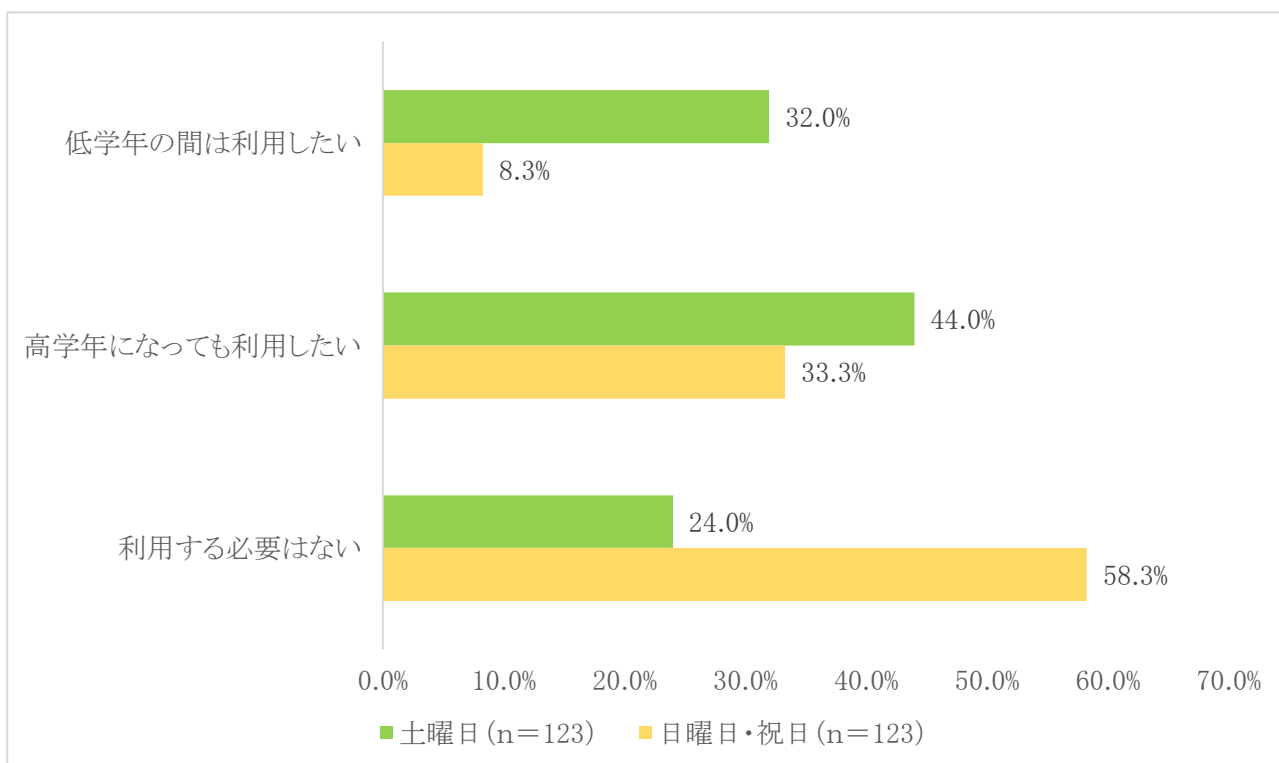
(問13) 宛名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごしていますか。

【複数回答】



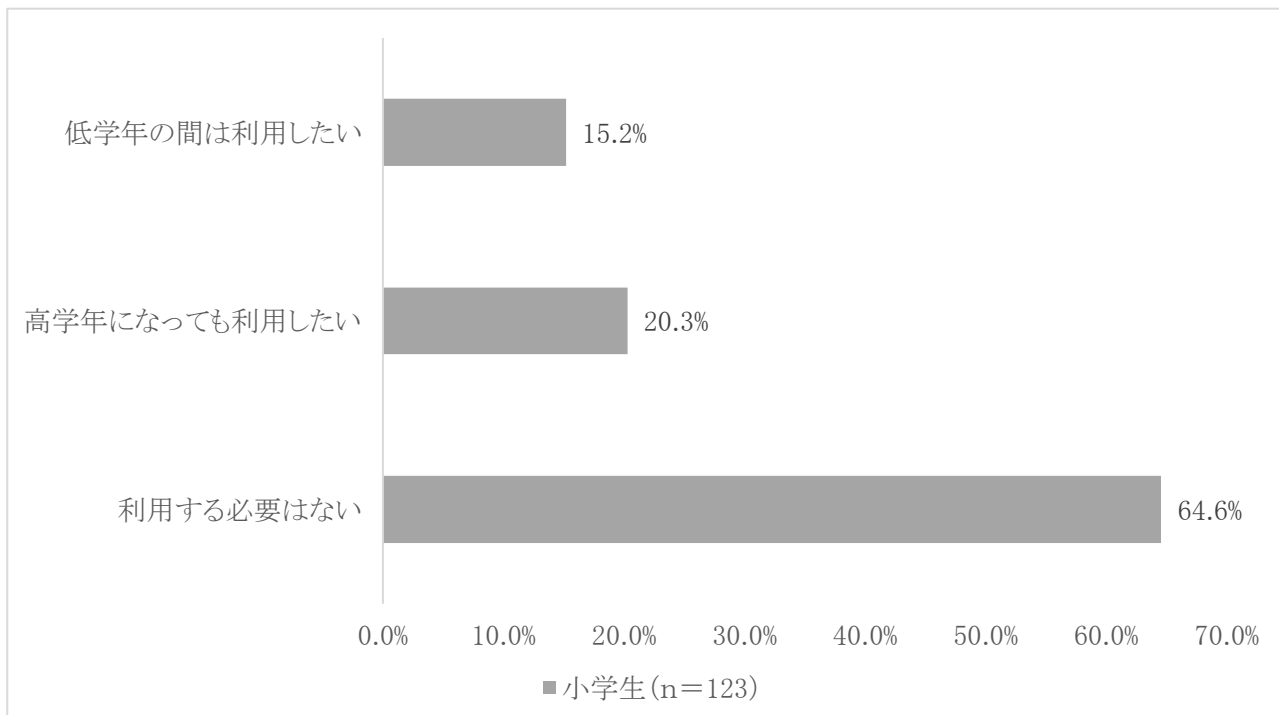
平日の小学校終了後の放課後の過ごし方は、「自宅」が約5割を占めており、次いで「習い事」「祖父母等」と続いている。次いで「学童保育所」は、約1割を占めている状況となっています。

(問14) 問13で「5. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。



学童利用の土曜日は、「高学年になっても利用したい」「低学年の間は利用したい」は合わせて約7割を占めている。日曜日の利用は、「利用する必要はない」は約6割を占めている状況となっています。

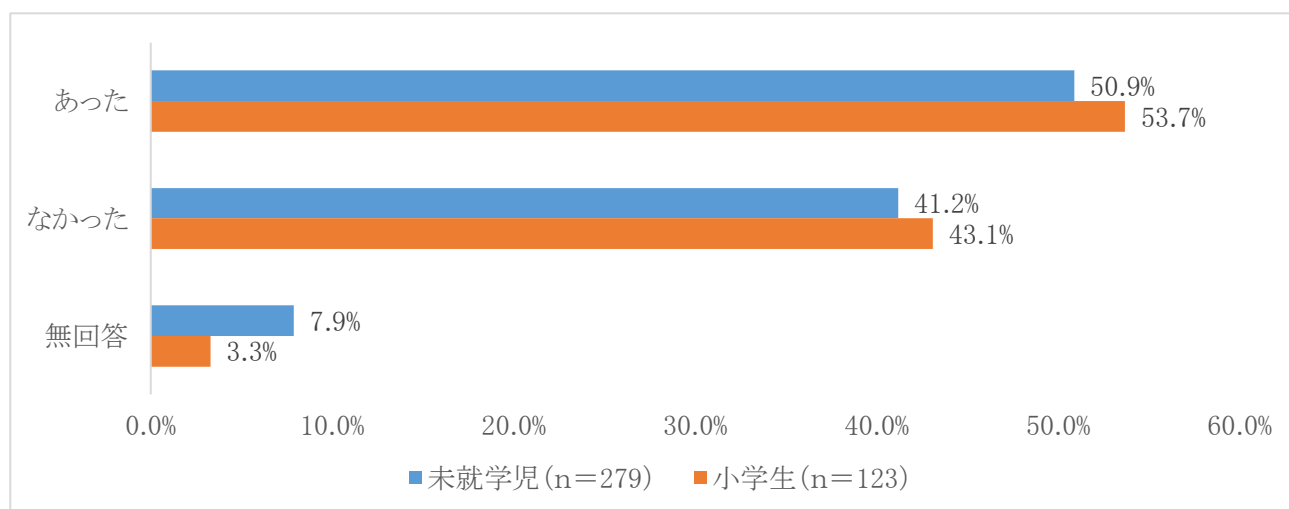
(問15) 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。



長期期間中の利用希望について、「利用する必要はない」が最も多く、次いで「高学年になっても利用」したいが約2割、「低学年の間は利用したい」が約1割を占めている状況となっています。

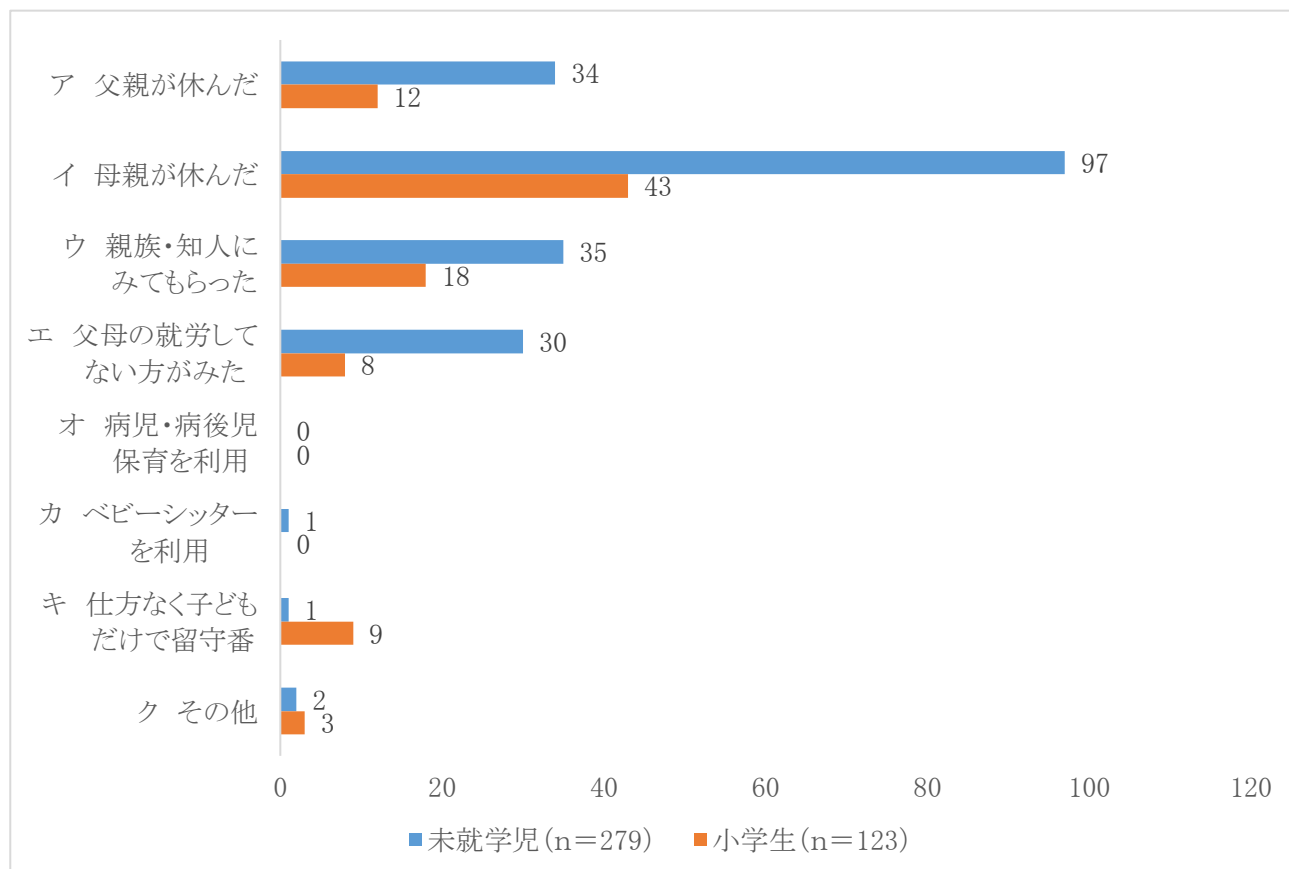
## 病気の際の対応について【共通】

問22(問16) 宛名のお子さんについて、この1年間に病気やケガのため小学校を休まなければならなかったことはありますか。



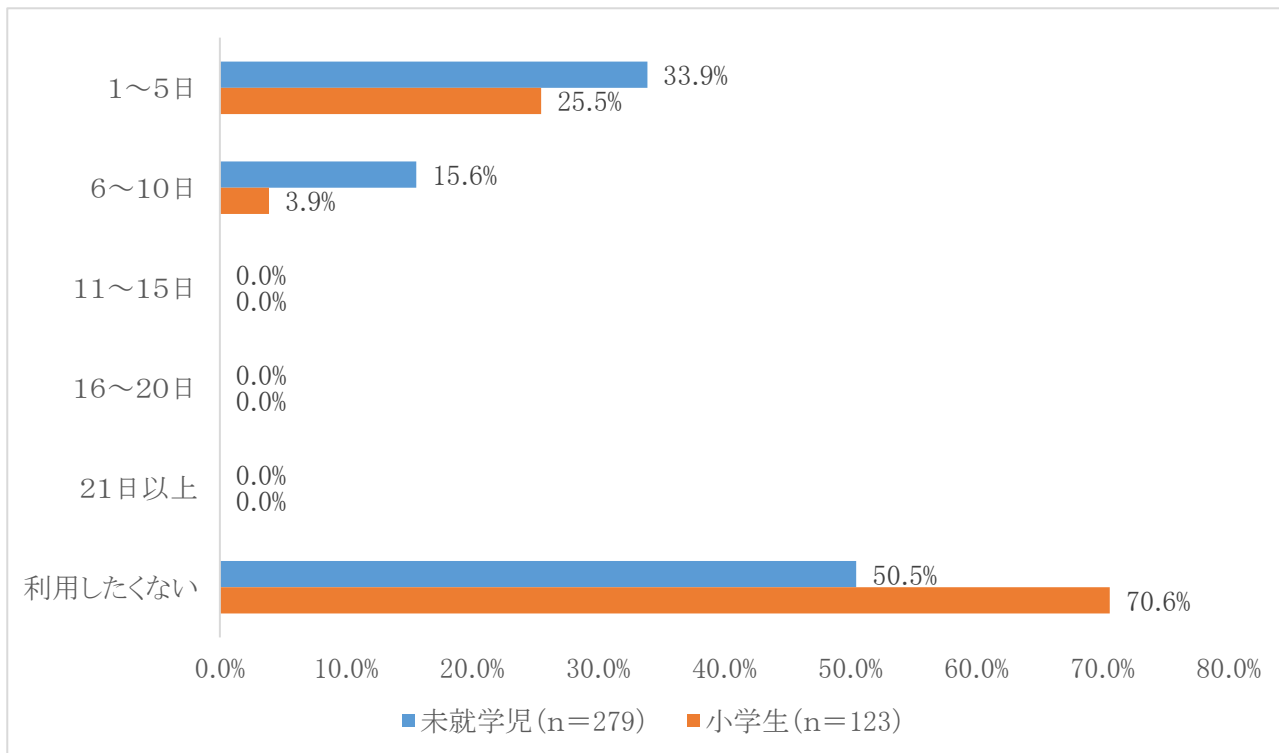
1年間に病気やケガで小学校を休んだことについて、「あった」と「ない」は、ほぼ半々の割合でとなっている。「あった」の方が若干を上回っている状況となっています。

問22-1(問16-1) 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法は。【複数回答】



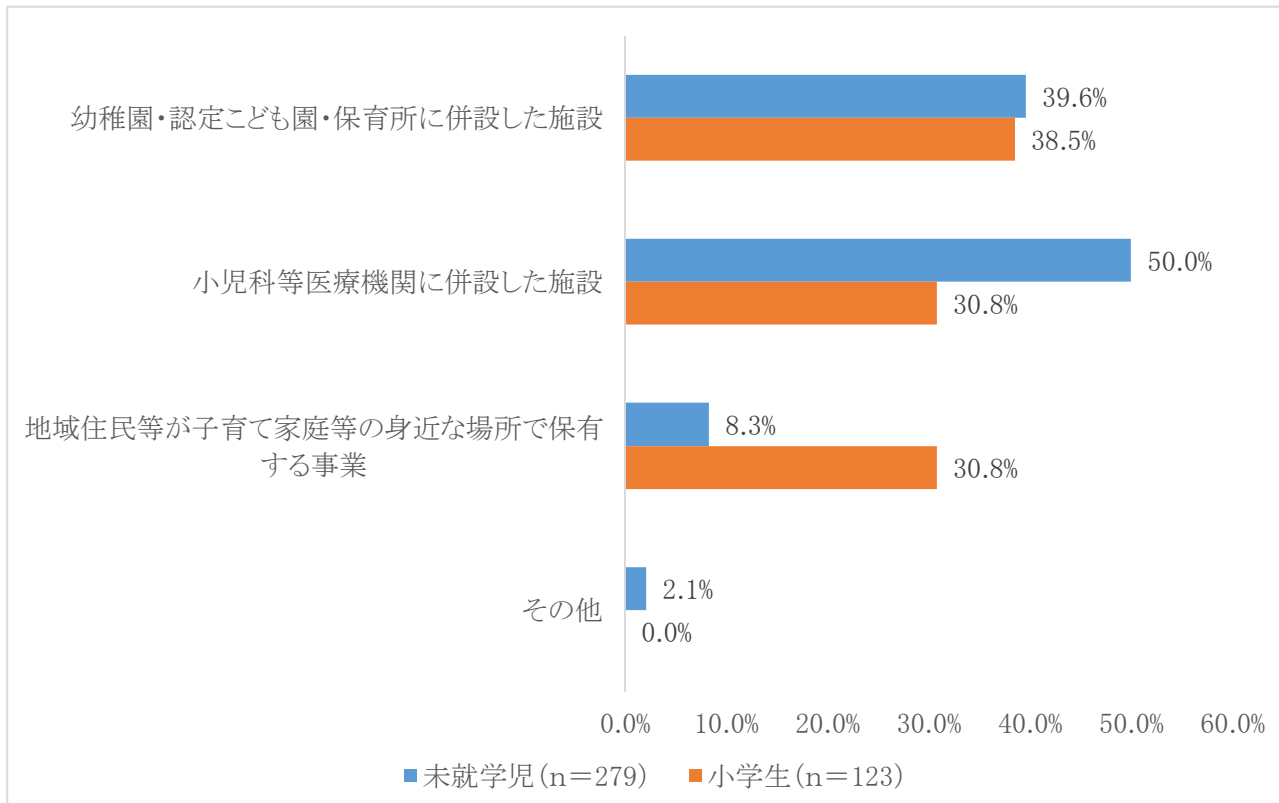
未就学児・小学生ともに、「母親が休んだ」が最も多く、次いで「父親が休んだ」「親族、知人」「父母の就労していない方」の順となっており、この4つが主な理由となっています。

問22-2(問16-2) その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。



病児・病後児について、未就学児・小学生ともに「利用したくない」が最も多く占めており、次いで「1日～5日の利用希望」の順となっています。

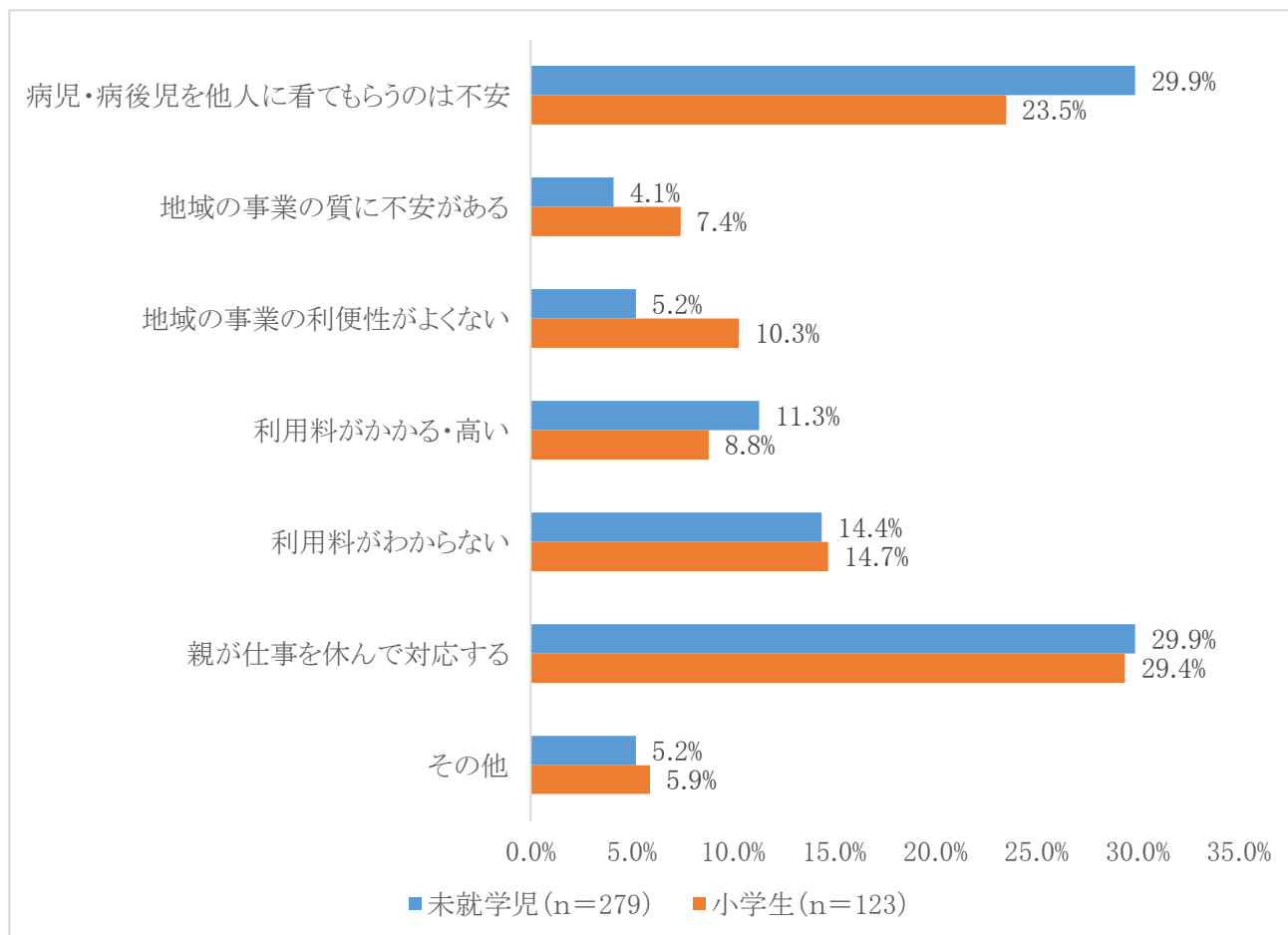
問22-3(問16-3) 問22-2(問16-2)で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。



未就学児は、「医療機関に併設した施設」が約5割を占めており、次いで「幼稚園等の施設」が約4割を占めている状況となっています。小学生では、いずれも約3割を占めてほぼ横並びの状況となっています。



問22-4(問16-4) 問22-2(問16-2)で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。【複数回答】

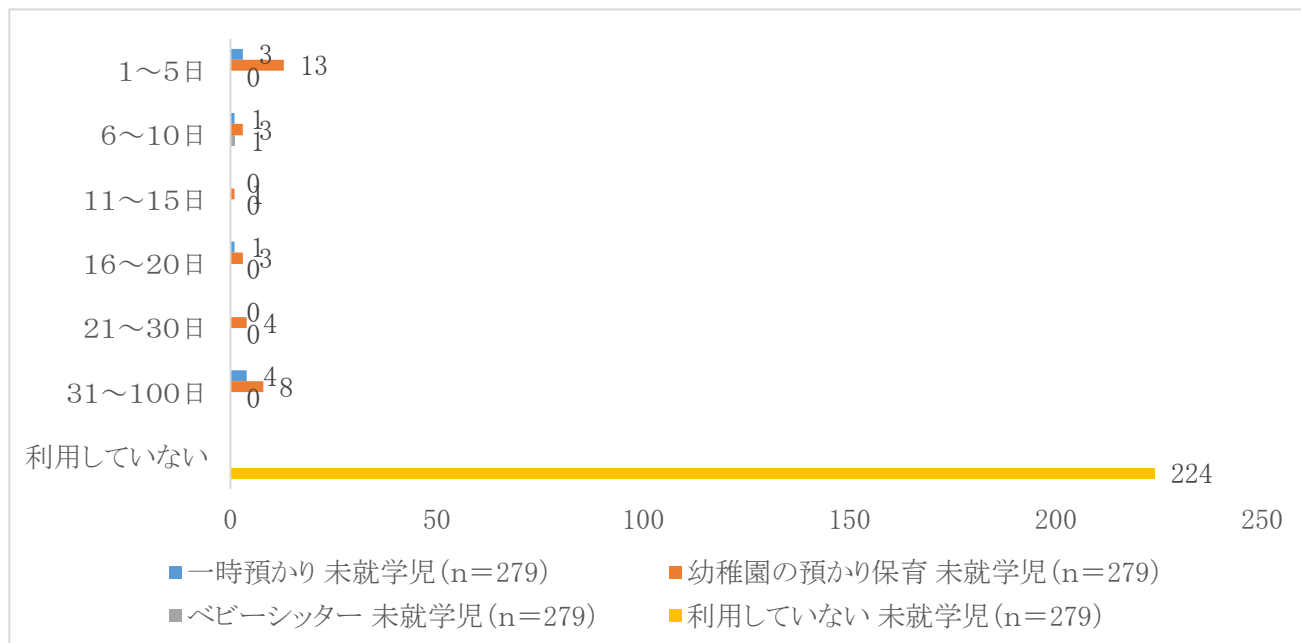


利用したいと思わないについては、未就学児・小学生ともに「親が休んで対応」は最も多く、次いで「他人に看てもらうは不安」の順で、この2つが主な理由となっている。

## 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

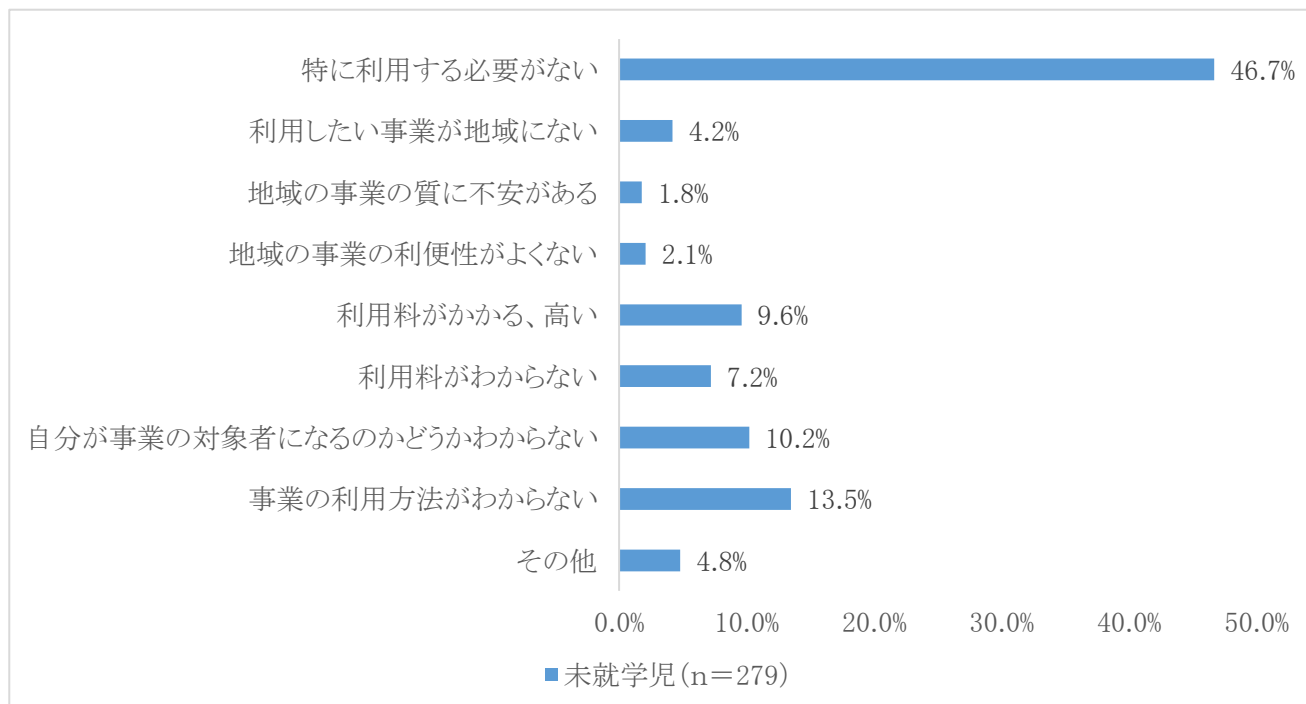
### 【未就学児のみ】

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。



不定期の利用について、「利用していない」が圧倒的に多く、「幼稚園の預かり保育」はそれぞれ少しの割合を占めている状況となっています。

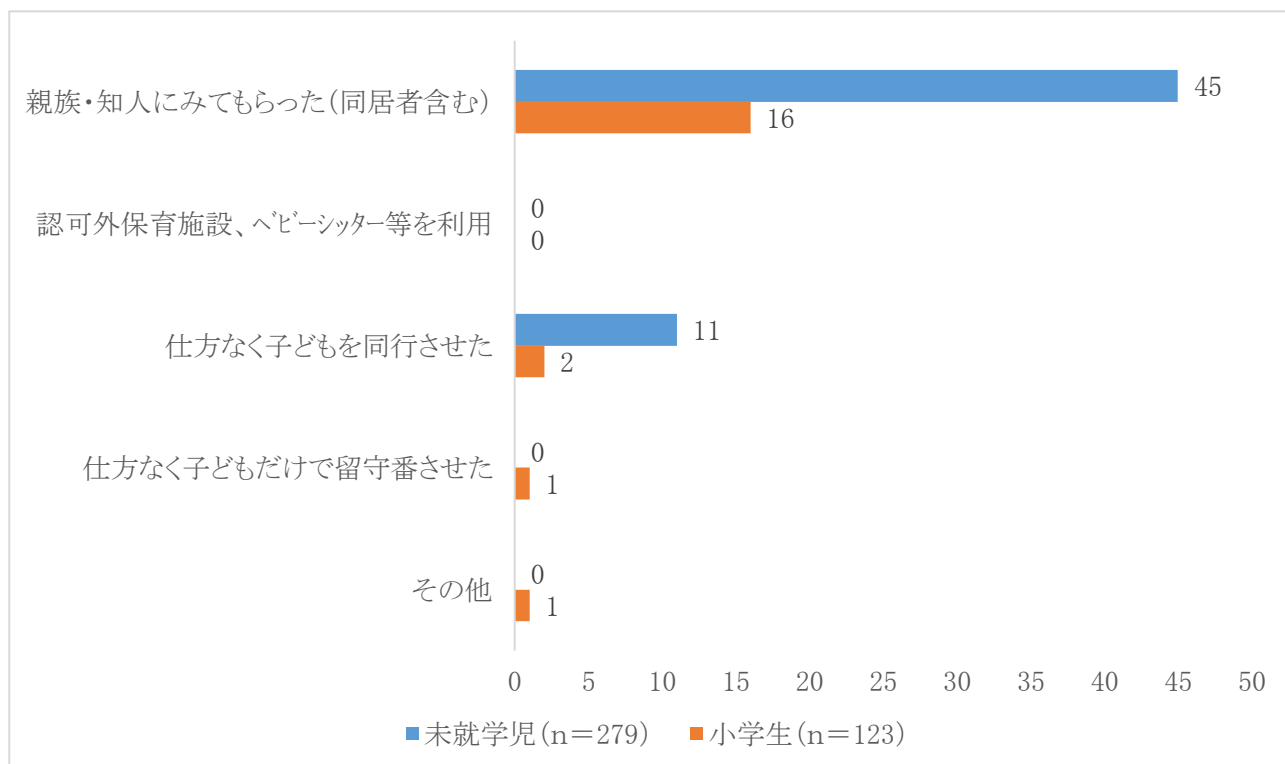
問23-1 現在利用していない理由は何ですか。



現在利用していない理由について、「特にご利用する必要がない」は約5割を占めており、次いで「利用方法・利用料・対象になるかわからない」が主な理由となっています。

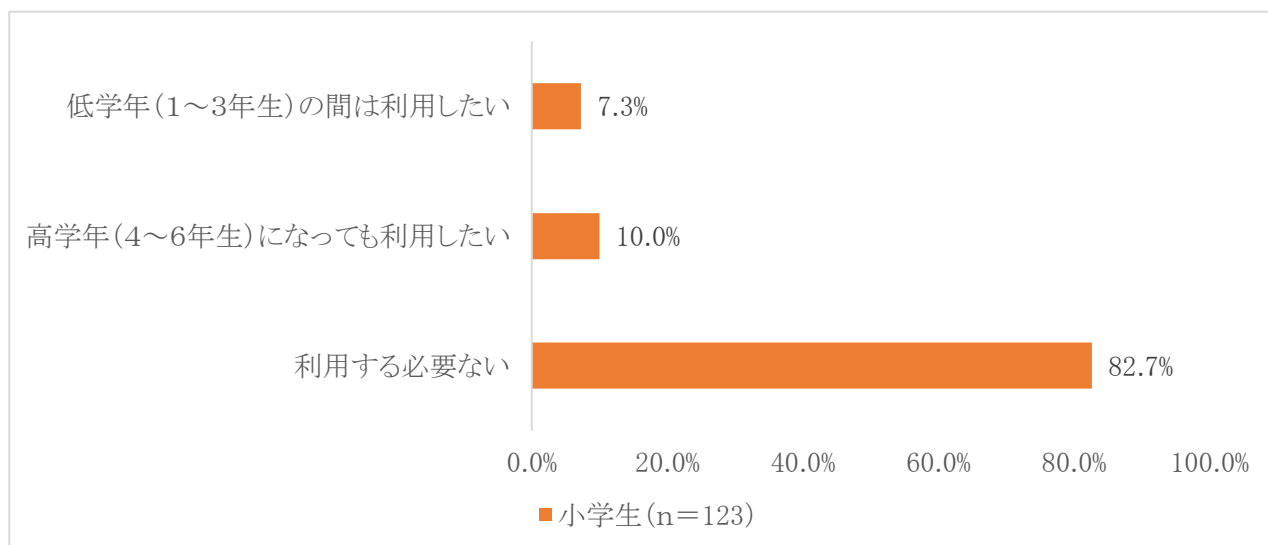
## 宿泊を伴う一時預かり等の利用について【共通】

問25(問17) この1年間に保護者の用事(冠婚葬祭、病気、不定期の就労等)で宛名のお子さんを家族以外に日帰り又は泊りがけで預けなければならないことはありましたか



未就学児については、「親族・知人」は約5割を占めており、次いで「子どもを同行」の順となっています。小学生になると、「親族・知人」は約1割弱を占めている状況となっています。

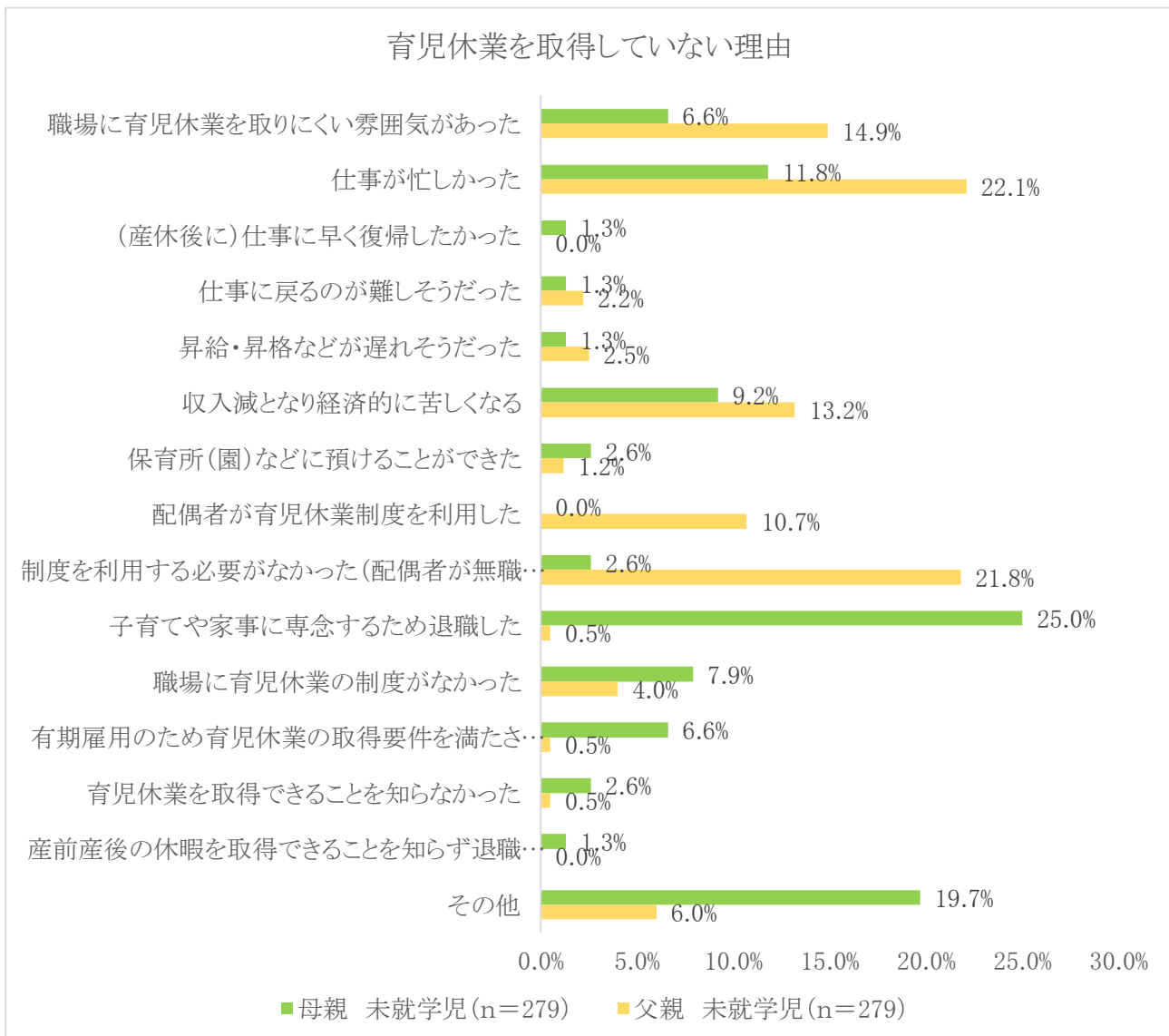
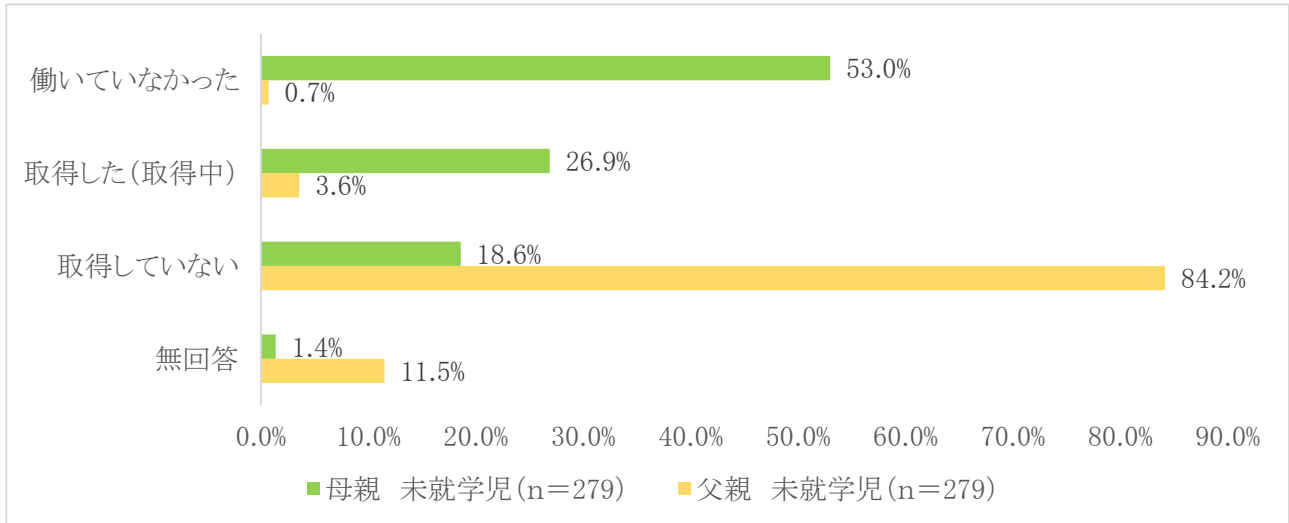
(問18)宛名のお子さんについて、緊急時などでお子さんを泊りがけで預けられるサポート事業が町内にあった場合、利用すると思いますか。



緊急時などの泊りがけ預けについて、「利用する必要ない」は約8割を占めており、「低学年・高学年の利用」は約1割程度の利用希望となっています。

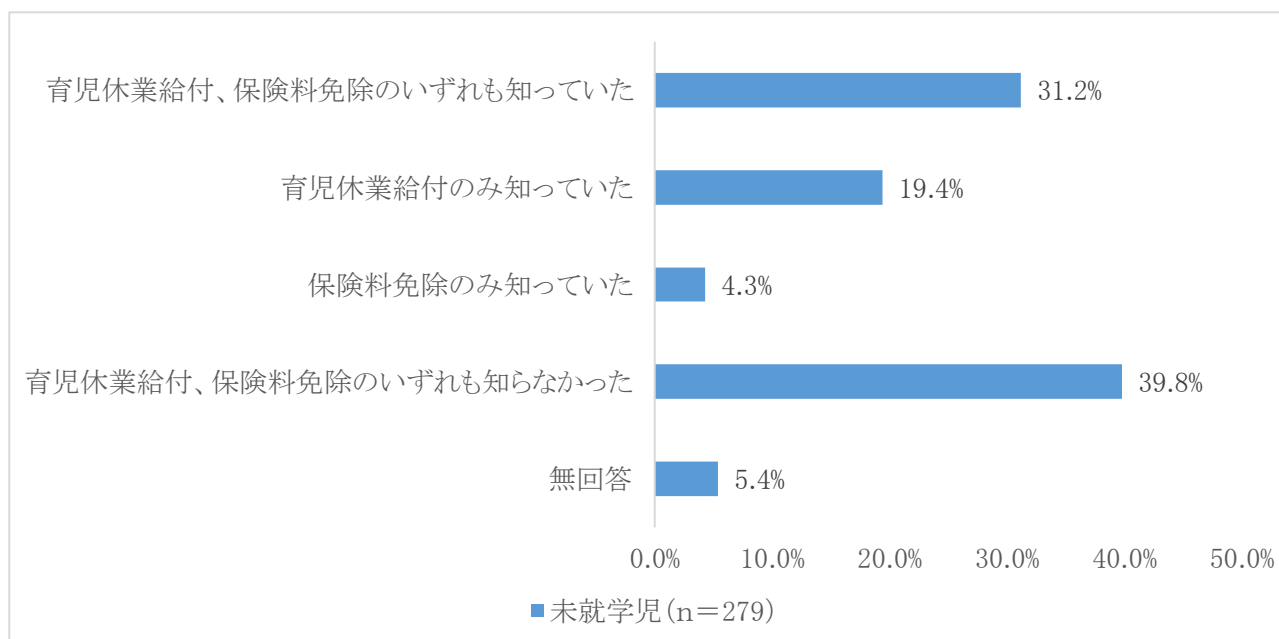
## 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について 【未就学児のみ】

問26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。



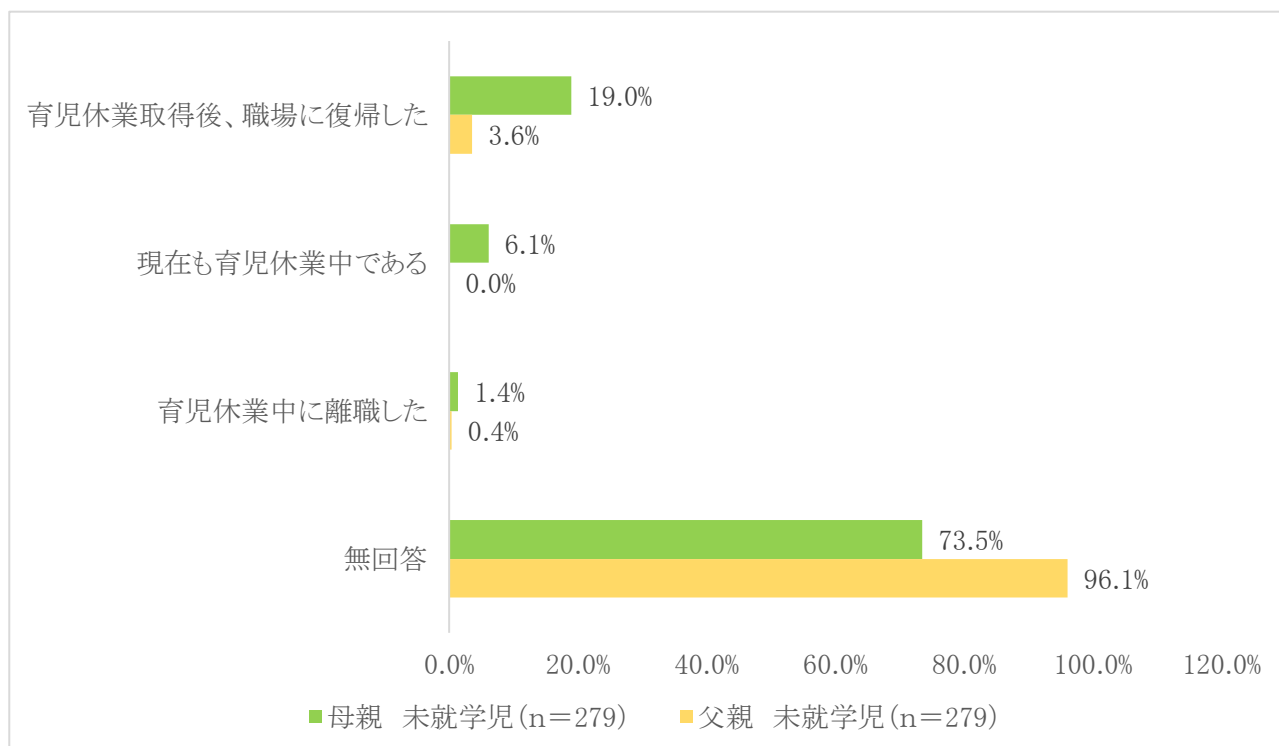
育児休暇の取得について、母親は「働いていなかった」「取得した」「取得していない」の順となっており、父親は反対に「取得していない」「取得した」「働いていなかった」の順となっている状況です。

問26-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。



育児休業給付について、「知っていた」は合わせて約5割を占めており、「知らなかった」は約4割を占めている状況となっています。

問26-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

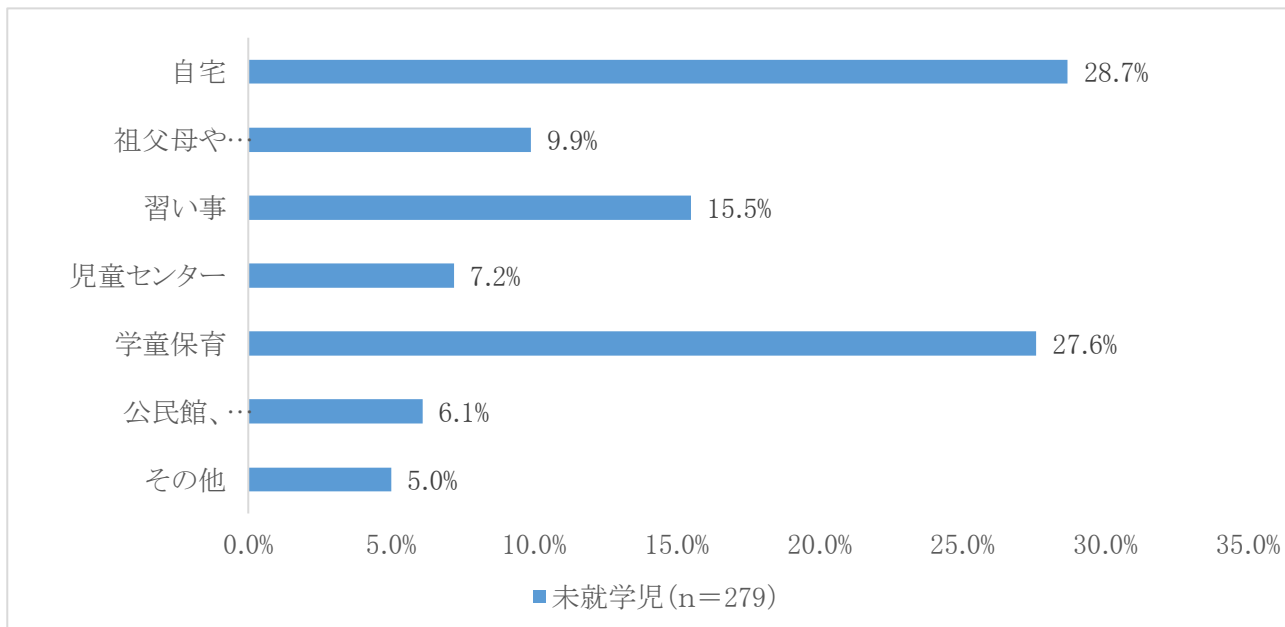


育児休業取得後の職場復帰について、「無回答」が多い状況となっていますが、「職場に復帰した」は僅かではあるが1割程度は占めている状況となっています。

## 小学校就学後の放課後の過ごし方について

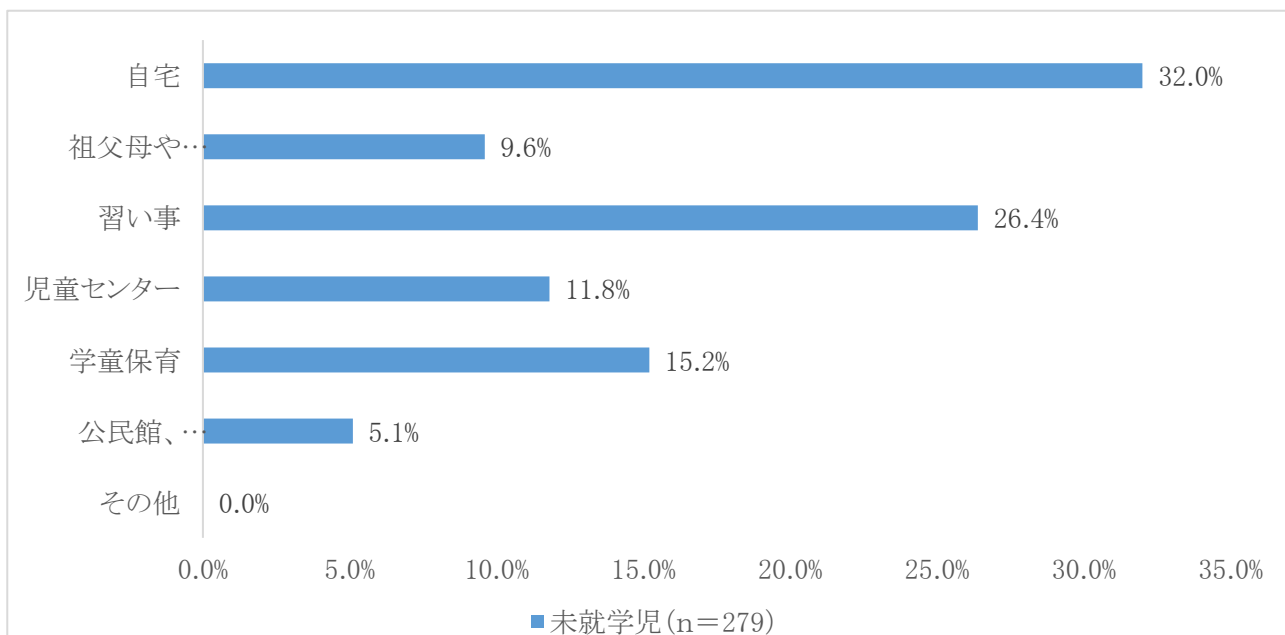
### (お子さんが5歳児以上である方)【未就学児のみ】

問27 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。



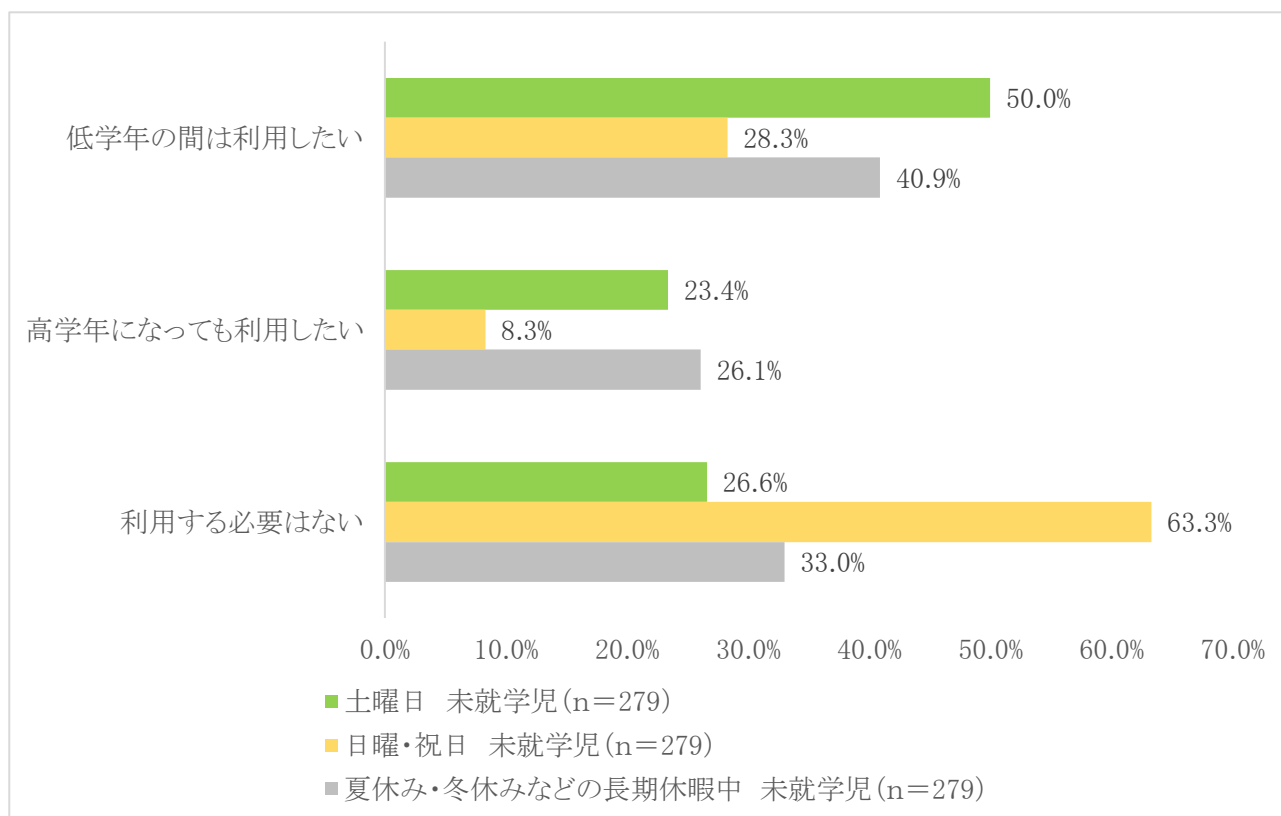
小学校低学年の放課後の時間について、「自宅」「学童保育」が合わせて約6割を占めており、次いで「習い事」「祖父母」「児童センター」の順となっている状況です。

問28 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか



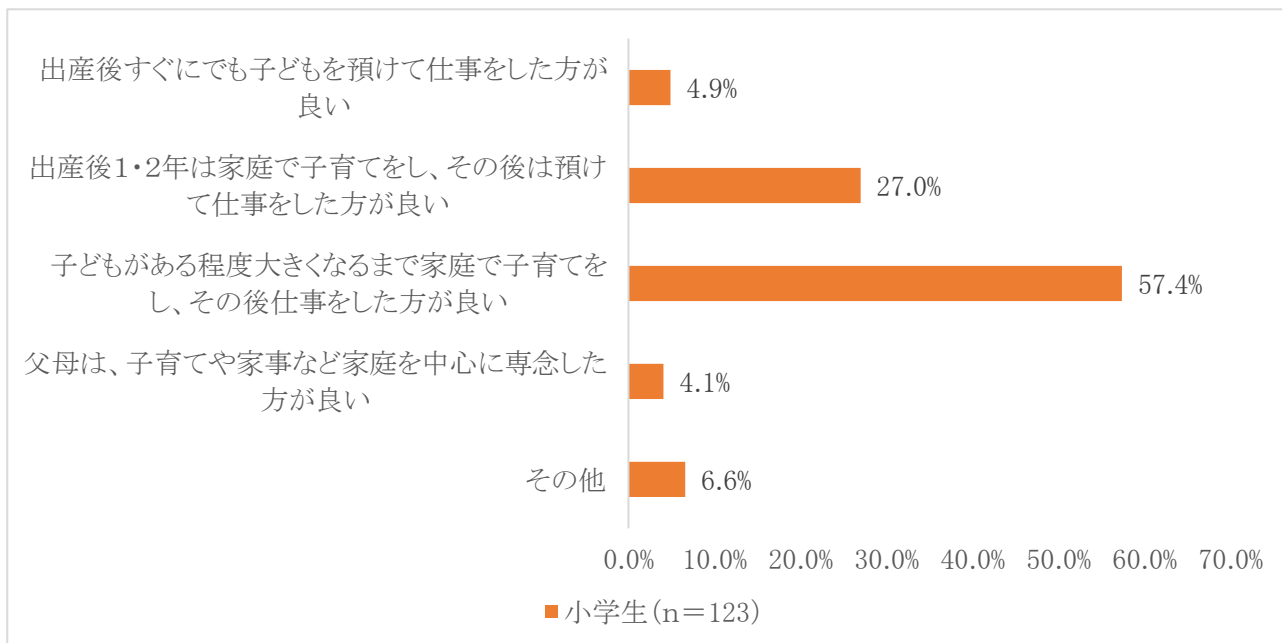
小学校高学年の放課後の時間について、「自宅」「習い事」が合わせて約6割を占めており、次いで「学童保育」「児童センター」「祖父母」の順となっている状況です。

問29・問30 問 27 または問 28 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日・夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童保育の利用希望はありますか。



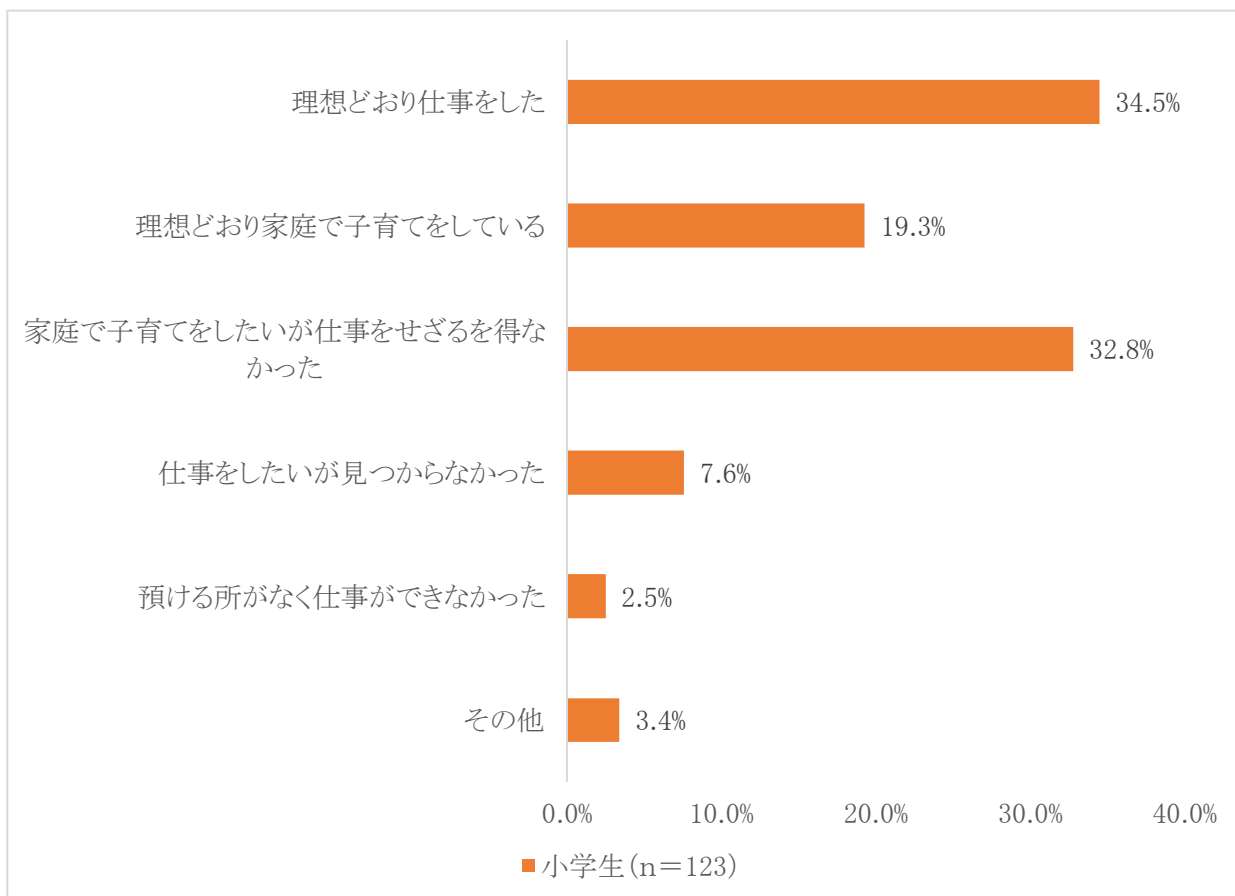
学童保育の土日・祝日、長期休暇中の希望利用について、「低学年の間は利用したい」はそれぞれ高い割合を占めており、「高学年の利用したい」は土曜と長期休暇中が主な理由となっている状況です。また、日曜・祝日については、「利用する必要はない」が最も多い状況となっています。

(問19) 子育てについて、理想としてどのようなお考えをお持ちでしょうか【小学生のみ】



小学生のみの設問であり、「ある程度大きくなるまで」は約6割を占めており、次いで「1～2年」は約3割を占めていて、主な理想の考えはこの2つとなっている状況です。

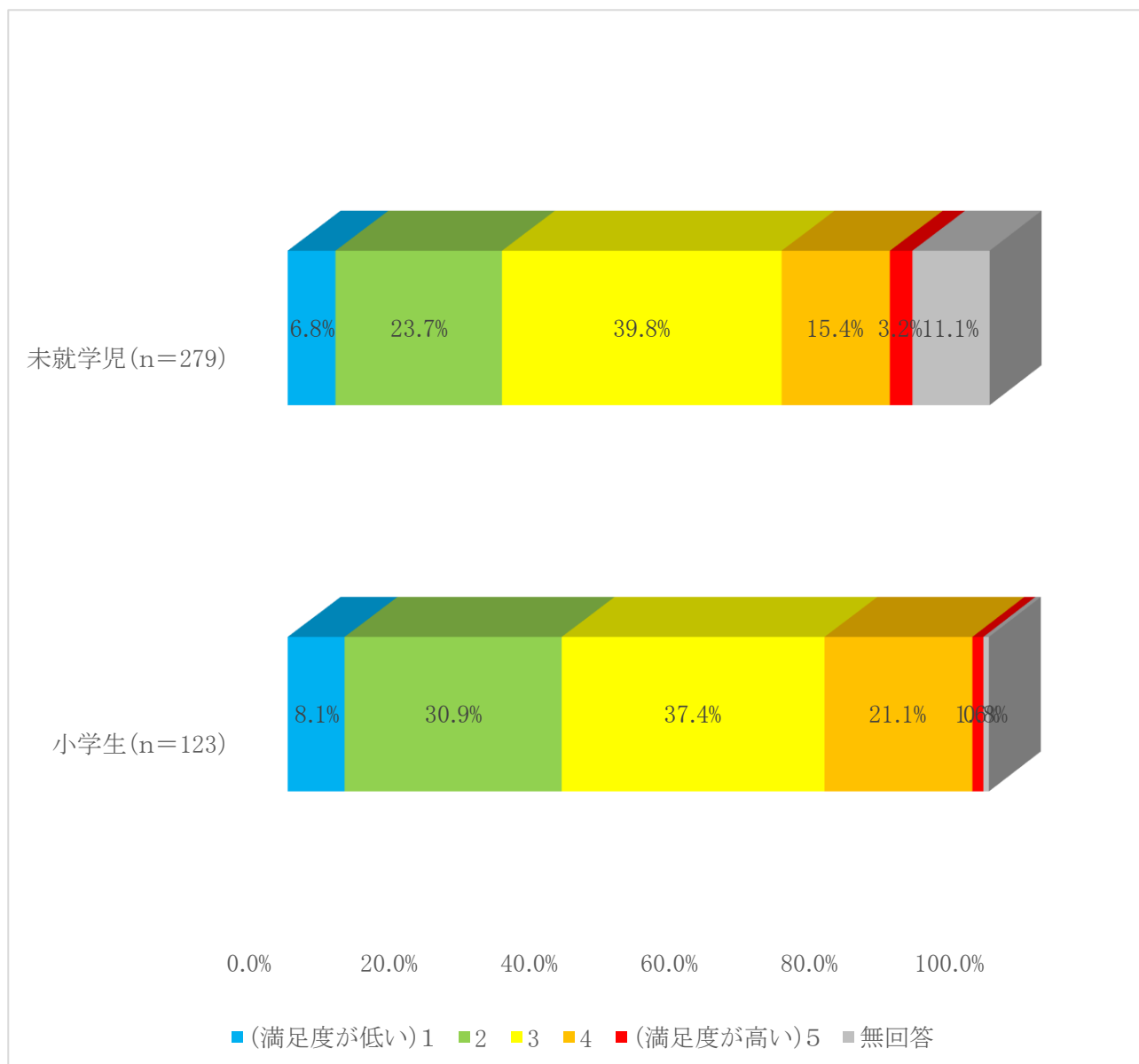
(問20) (問19)について、実際はどうでしたか【小学生のみ】



小学生のみの設問であり、理想と実際について、「理想どおりできた」が合わせて約5割を占めており、「理想どおりできなかった」が合わせて約4割を占めている状況となっています。



問31(問21) お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について 【共通】



子育て支援に関する満足度について、未就学児は「3(普通)」は約4割を占めており、「4(やや高い)」「5(高い)」を合わせると全体の約6割を占めている状況となっています。

小学生は「3(普通)」は約4割を占めており、「4(やや高い)」「5(高い)」を合わせると全体の約6割を占めている状況となっています。

## 自由意見(主な意見・要望等)について

問11(問9) 子育て(教育)をするうえで、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。

問32(問22) 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見あればご記入ください。

意見の種類		未就学児	小学生	計
①	幼稚園・保育園について	30	11	41
②	学童保育について	22	7	29
③	病児病後児について	10	8	18
④	一時預かりについて	29	8	37
⑤	母子保健・医療について	18	4	22
⑥	仕事と育児の両立支援について	16	5	21
⑦	経済的支援について	4	6	10
⑧	子育てに関する情報提供について	21	5	26
⑨	公園等の遊び場について	12	16	28
⑩	子育て支援センターについて	13	4	17
⑪	発達支援センターについて	2	1	3
⑫	児童センターについて	5	9	14
⑬	小学校、教育について	6	14	20
⑭	その他	3	4	7
計		191	102	293

① 幼稚園・保育園について(意見総数:41件)

- ◇短時間託児をもっと身近で気軽にできる場所が欲しい(手続きなど)(6件)
- ◇学費や保育料の減額、料金が低い(5件)
- ◇へき地保育所の休所しないようにしてほしい(2件)
- ◇0～2歳児の受け入れ施設がもっと増えればよい(7件)
- ◇現在保育園に預けていますが認定園等の様に預けられる時間が早く又迎えの時間を19時にするなど対応してほしい(5件)
- ◇認可保育所の受入数や、保育士を増やして、子育て環境を充実させて欲しい(10件)
- ◇待機児童などの取り組みにもっと力を入れて欲しいです(2件)
- ◇認可外保育施設には大変お世話になった。補助金があり助かった(4件)

② 学童保育について(意見総数:29件)

- ◇半日や月に二回などの利用が出来ると良いと思う、急な用事やいつでも気軽に預けられる施設だと利用しやすく助かる(4件)
- ◇学童の利用のしやすさをもっと充実させて欲しい。(4件)
- ◇学童利用可能時間の開始と終了時間を長くしてもらいたい。(5件)
- ◇学童保育は小学1～6年生まで利用できるようにしていただきたいです。(10件)
- ◇学童保育の無料化。利用料金が低い(4件)
- ◇春休みやゴールデンウィークも短期の学童保育が使えると良いと思う(2件)

③ 病児病後児について(意見総数:18件)

- ◇子どもを見守る地域の人たちの目、軽い病児を保育してくれる環境(2件)
- ◇いつでもすぐその時に見てもらえるサポートがあれば助かります。(6件)
- ◇体調が悪い時など前もってわからない場合の預け先、育児サポート、育児の悩みを聞いてくれる場(3件)
- ◇病児病後児保育施設、子どもが病気になった時気軽に預けられる施設がほしい(6件)
- ◇病後施設はいらぬと思う。他の子の菌をもらってしまう可能性がある(1件)

④ 一時預かりについて(意見総数:37件)

- ◇どんな理由でも(急でも)預かってくれる所があればいいなと思いました(11件)
- ◇夜間見てくれるとこがあれば(4件)
- ◇気軽に預けられる所が欲しい 安心安全な場所、人(8件)
- ◇気軽に短時間でも預かってくれるサポート(4件)
- ◇一時預かりの施設・場所の充実をして欲しい(3件)
- ◇親のリフレッシュできる時間が欲しかった(4件)
- ◇緊急時にも対応してもらえる託児施設(2件)
- ◇子供を預ける場所等が少ないし不十分(1件)

⑤ 母子保健・医療について(意見総数:22件)

- ◇身近にサポートしてもらえない人がいないため、産後に利用できるヘルパーサービス等があると嬉しい。(2件)
- ◇2歳児検診があると助かる。(1件)
- ◇医療費の無償化です。子どもは高校生まで(6件)
  - ◇夜間診療も行って欲しいです(2件)
  - ◇小児科の閉まる時間が早い もっと安心してできるように病院も充実してほしい(3件)
- ◇ひとり親世帯でも安心、安全、手軽に子どもを預けられる環境をもっと充実させて欲しい。難病持ち、母子家庭の私には急な通院、入院があると子どもの世話、面倒を見てもらえるのに困ることが多い。(1件)
  - ◇産後ケアが充実していたら嬉しい(1件)
  - ◇教育費、医療費等、子どもにかかる費用は収入の上限なく面倒を見て欲しい。(3件)
  - ◇医療費の(子供)負担が減った事はとてもありがたいです。少しの心配でも、がまんさせる事なくすぐに診察してもらいやすくなり、このまま継続して頂きたいです。(3件)

⑥ 仕事と育児の両立支援について(意見総数:21件)

- ◇働き方、スタイルによって子どもを預けやすい制度や、選択肢の幅が広がるような施設があるとよい(1件)
- ◇急な仕事の時、土日祝日や保育時間外に子どもを見てくれる場所があるといい(2件)
- ◇美幌町には託児施設のある職場がないので、本当にあればいいのに、と思います(1件)
- ◇パートを続けられるか不安です(2件)
- ◇働きたくても働くには難しいことがありました。(4件)
- ◇未就学児の子どもがいるが今の所サポートもあり、満足している。(1件)
- ◇職場が子育てをしながら働くには過酷。気軽に休めない 時間休はもらえない(7件)
- ◇母子家庭だと、預けて働くところがない。(1件)
- ◇今は共働き家庭も多いので、3歳未満でも預かってくれる施設がもっとあると助かる(2件)

⑦ 経済的支援について(意見総数:10件)

- ◇町外でワクチンを打っても町内で打ったのと同じ負担金になるようにしてもらいたい。(1件)
- ◇ひとり親家庭なのでもう少し手当を充実させて欲しい(2件)
- ◇一般的な世帯だと受けられないサービスが多い。子育てに収入の上限はおかしい(2件)
- ◇小学高学年、中学生になると教育にかなりの金額がかかり家計負担で生活苦になる。最低でも給食費を無料、医療費も無料でいいと思う。(1件)
- ◇低収入者が多いのでこども一人に対しての助成を充実させて欲しい(2件)
- ◇ひとり親家庭に限らず全世界帯に補助制度があればいいと思う(2件)

⑧ 子育てに関する情報提供について(意見総数:26件)

- ◇子育てする中で、心配なことを親身になって相談でき、解決に導いてくれるような相談相手がいるといいなと思います(6件)
- ◇イベントや行事、講演会での情報収集、親同士が子育てについて話せる場所づくり(4件)
- ◇保育料や医療費など、だれにでもわかりやすい情報の提示があると良いと思います(3件)
- ◇相談専用の LINE など、便利なツールがあればもっと気軽に問合せが出来るかもしれない。SNSを開設して、メッセージなどのツールがあると良いと思う。(4件)
- ◇子育てに関する相談窓口があること(6件)
- ◇町外の情報にもっと耳を傾けるべき。魅力のある町にして欲しい(2件)
- ◇産婦人科医が来てほしい(1件)

⑨ 公園等の遊び場について(意見総数:28件)

- ◇幼稚園や木のテラスのような子どもが遊ぶ施設に保健師などの職員に来てもらい相談できる体制(4件)
- ◇外で遊ぶ所をもっと増やして欲しい(3件)
- ◇小学生が思い切り体を動かせる施設が欲しい(4件)
- ◇ワークショップ、広い公園で遊具の充実(5件)
- ◇気軽に遊べる室内があるとありがたい(体育館など)(3件)
- ◇子どもを遊ばせる場や預かってもらえる事業が少ない。(2件)
- ◇公園や子どもが遊べる場所が少ない 施設が充実していない(5件)
- ◇図書館に子供達(たくさんの)が勉強できるスペースを広くしてほしい(2件)

⑩ 子育て支援センターについて(意見総数:17件)

- ◇どんな小さな悩みでももっと気軽に相談出来る場所がほしい(3件)
- ◇一時預かりの利用目的に「親のリフレッシュ」もあるといい(3件)
- ◇どこも人手不足で厳しい(1件)
- ◇支援センターの相談しやすい環境を整えて欲しい(2件)
- ◇子育て支援センターに飲食スペースを作って欲しい。利用時間について、午前と午後で分けないでほしい(昼をまたいで長時間利用したい)(1件)
- ◇就学後も子育て支援センター、発達支援センターを利用できればうれしい(2件)
- ◇乳児から幼児期、悩みや不安(特に第1子)が多くあった。子育て支援センターの存在はありがたい。若いお母さん方のサポートをできるようスタッフの方々の充実、心身のサポートがあれば良い。(2件)
- ◇働いていて普段子育て支援センターの利用のない場合相談などはできず、病院に行きたい時なども急には頼めない。(2件)
- ◇生後数カ月からでも利用できる子育て支援センターの集まりのようなものがあれば良かった。赤ちゃんとのふれあい、遊びの指導、相談、身体測定など、検診だけではなく不定期でも開催されていれば、一人で抱え込むことなく気分転換できたのではないかと思う。(1件)

⑪ 発達支援センターについて(意見総数:3件)

- ◇相談できる環境があるのはとても嬉しいので、もっと充実やサポートをして欲しい(1件)
- ◇発達支援センターの料金を補助してほしい(1件)
- ◇子どもが発達支援センター出身。大変お世話になり能力も伸び毎日楽しく学校生活を送れているようだ。先生に異動があるのが残念。専門職なので経験や知識が異動によって活かされず、担当の先生が変わり不安を感じるデメリットにしか感じない。(1件)

⑫ 児童センターについて(意見総数:14件)

- ◇楽しく遊べたり、運動を教えてくれる等子どもが行きたいと思える施設があれば利用したい度はかなり上がると思います(1件)
- ◇児童センターへ行くには遠い(5件)
- ◇利用しやすいと放課後も有意義に過ごせるのではないかと思います(2件)
- ◇生後数カ月からでも利用できる集まりのようなものがあれば良かった(1件)
- ◇児童館があればいいと思う(2件)
- ◇学校のそばに児童館がない(3件)

⑬ 小学校・教育について(意見総数:20件)

- ◇ボランティアで勉強を見てくれる場所(2件)
- ◇少年団や習い事で送迎をしてもらえるボランティアがあれば助かる(有料でも)(4件)
- ◇学力低下や体力低下が気になるので、運動をしたり宿題を見てくれたりすると安心して預けられる(3件)
- ◇各クラスにサポートしてくれる支援員いると安心する 担任以外の先生が足りない(3件)
- ◇教育や先生の質を高めて欲しい(2件)
- ◇グレーゾーンの子達が増えているのに学校の先生方の発達障害の子に対する知識や接し方が全くわかってない先生が多い。これだけグレーゾーンの子が増えてくる時代なので全ての先生方も療育園の先生方からグレーゾーンの子供の接し方を学ぶ勉強会をすべきだと思います(2件)
- ◇小学生の子供(男子も女子も)が料理を覚えてもらう機会を増やしてほしい(1件)
- ◇スクールバスの利用できる仕組みを見直して欲しい(3件)

⑭ その他(意見総数:7件)

- ◇困った事が起こった際、解決策を一緒に考えてくれるようなサポート(3件)
- ◇時に応じた声かけがあると相談させてもらいやすい(2件)
- ◇仕事以外にもリフレッシュのために息抜きができるシステム(2件)
- ◇母親も働きやすい環境を作っただけないと、若い方は美幌に住みずらいです。
- ◇保育園の先生方には感謝しかありません。朝早くから夕方まで我が子と共に過ごして下さること、大変だとは思いますが。いつも温かく接して下さりありがとうございます。先生方の待遇が良いものでありますように、お願いいたします。
- ◇子どもと関わるすべての人に自閉症のことを知ったり勉強する機会があればいいと思う。
- ◇共働きが出来るサポート(主に職場からの)
- ◇出生～学童期のいつでも、子どものことをワンストップで相談でき必要なサポートを受けられると良い
- ◇小さい子供がいる家庭が安心して子育てが出来る環境が必要だと思います。出来る事から要望に応じてあげてほしいと思います。未来にとって大切な子供達です。町全体で育てていけるような支援体制が大事なのではないのでしょうか。よろしく申し上げます。
- ◇子育てにおいて、相談したい、サポートを受けたいというニーズは強くあるように思うが、それぞれのタイミング、つながっている場所が合わないとニーズが満たされないように思う。美幌町には保健師さん、保育士さん、先生方、個々に相談できる力を持っている方はいるが、その人たちを統括する組織、町、となると相談体制の弱さを感じます。充実した子育て環境を求めて美幌町に住みたいと思える人を増やすという施策を具体化してほしい。